

Part 1 基本情報

1.ブルガリアプロフィール

(1) 正式名称	(和文)ブルガリア共和国 (英文) Republic of Bulgaria
(2) 政体	共和制
(3) 首都	ソフィア
(4) 面積	11万900平方km
(5) 人口	797万人(2001年)
(6) 民族	ブルガリア人80%、トルコ系9.7%、ロマ3.4%など
(7) 言語	公用語 :ブルガリア語
(8) 宗教	ブルガリア正教、イスラム教、カトリック、プロテスタント
(9) 略史	1681年第1次ブルガリア王国成立。1185年第2次ブルガリア王国成立。1241年モンゴル軍の侵入。1396～1878年オスマン・トルコによる占領。1879年第3次ブルガリア王国成立。1946年王政廃止、ブルガリア人民共和国成立。1991年新憲法採択。
(10) 在留日本人	132人(2001年3月)
(11) 気候	四季の区別がはっきりしている温帯性気候である。北部はやや大陸的で冷涼であるが、バルカン山脈を南下するにしたがい地中海性気候に近づく。年間平均気温は摂氏10度、冬はほぼ0度である。降雨は冬から春にかけて多く、夏から秋は比較的乾燥している。

【参考】
「外務省ホームページ-各国・地域情勢-」外務省
『最新世界各国要覧 10訂版2000』東京書籍

2.業務のための基礎データ

(1) JICA事務所の概要(ブルガリア駐在員事務所)

住所 : Interpred-WTC Sofia Bld., 36, Dragan Tzankov Blvd., Bl. A, Office 901, 1057
Sofia, Bulgaria

連絡先 : 国番号 : 359

市外局番 : 02

電話 : +359-2-971-2170/3763

FAX : +359-2-971-2131

時間外・休日などの緊急連絡先 : 該当情報なし。

URL : <http://www.jica.go.jp/bulgaria/index.html>

E-mail : jicabg@jica.go.jp

執務時間 : 9:00～17:30(休憩時間 : 13:00～14:00)

休日 : 下記の祝日および土、日曜日。

1月 2日～3日 元日

3月 3日 解放記念日

4月24日 イースターマンデー

5月 1日	メーデー
5月24日	教育文化の日
9月 6日	統一記念日
9月22日	独立記念日
10月 9日	体育の日
11月 3日	文化の日
12月25日	クリスマス
12月26日	クリスマス休暇
12月29日	年末休暇

(2006年)

事務所までの交通

【空港から】

空港からはタクシーの利用を勧める。片道約5米ドル(現地通貨8.5レヴァ相当)。タクシーの運転手には、「インタープレット」へ行くよう伝える。ソフィア空港はソフィア市内に位置しており、所要時間は約15分。

【空港以外から】

タクシーの利用を勧める。タクシーは、最寄りの場所で客待ちをしているタクシーまたは流しのタクシー(車体に9-1280あるいは973-2121の電話番号が表示されているもの)を利用すること。無線タクシーは数社あり、電話をかけて呼び出す。料金は、市内であれば、おおむね3米ドル程度(現地通貨4.5レヴァ相当)である。

<無線タクシー>

エクスプレス・タクシー 電話 :9-1280

OKタクシー 電話 :973-2121

事務所周辺地図



- (2) 日本との時差、サマータイム
 日本との時差 :-7時間(サマータイムでは6時間)
 サマータイム :3月最終日曜日から10月最終日曜日まで実施。

- (3) 祝日、官公庁の休日
 祝日 :
 3月 3日 解放記念日
 4月24日 イースターマンデー

5月 1日	メーデー
5月24日	教育文化の日
9月 6日	統一記念日
9月22日	独立記念日
12月25日	クリスマス
12月26日	クリスマス休暇

(2006年)

官公庁の休日：上記祝日と土曜日、日曜日

- (4) ビジネスアワー 官庁：9:00～17:30(土日休み)
銀行：8:30～16:30(土日休み)
商店：9:00～19:00(日曜日は多くの店が休業)
- (5) 言語 業務：普通、各省庁の担当者は英語が通用するが、一般にはブルガリア語が必要な場合が多い。
ホテル、買い物、食事：大きなホテルでは一般に英語が通用する。市場、商店などではブルガリア語が使われる。
- (6) 通貨 通貨：ブルガリアレフ(Lev=Lv.)(1レフ=100 スティンキ)
(複数はレヴァ=Leva/例 2レヴァ)
為替レート：1米ドル=1.8ブルガリアレヴァ(2003年4月1日現在)
- (7) 関係機関 【在外日本関係機関】
- ・日本大使館
住所：14, Lyulyakova Gradina, Sofia
電話：971-2708
URL：http://www.bg.emb-japan.go.jp/index_jp.htm
- 【ブルガリアの関係官公庁】
- ・Ministry of Education
住所：デラップ地区(アウトリガー・マーシャルアイランズ・ホテルリゾート横)
電話：625-5261～2、625-3656
FAX：625-7735
 - ・大統領官邸
住所：2, Knyaz Al. Dondukov Blvd.
電話：923-9333
URL：<http://www.president.bg/>
 - ・総理府
住所：1, Knyaz Al. Dondukov Blvd.
電話：940-2999
URL：<http://www.government.bg>
E-mail：GIS@government.bg
 - ・外務省
住所：2, Al. Zhendov St.
電話：948-2999

FAX :971-2413、870-3041

URL :<http://www.mfa.government.bg/>

E-mail :vmelamed@mfa.government.bg

・内務省

住所 :29, 6-ti Septemvri St.

電話 :987-7511

FAX :982-2047

URL :<http://www.mvr.bg>

E-mail :office@mvr.bg

・保健省

住所 :5, Sv. Nedelia Sq.

電話 :981-0111

FAX :981-1833

URL :<http://www.mh.government.bg/>

E-mail :press@mh.government.bg

・農林省

住所 :55, H. Botev Blvd.

電話 :985-11199

FAX :980-8270

URL :<http://www.mzgar.government.bg/>

E-mail :press@mzgar.government.bg

・文化省

住所 :17, Al. Stamboliiski Blvd.

電話 :989-4838

FAX :981-8145

URL :<http://www.culture.government.bg/>

E-mail :press.culture@bta.bg

・教育科学省

住所 :2A, Knyaz Dondukov Blvd.

電話:987-4951

FAX :988-2485

URL :<http://www.minedu.government.bg/>

E-mail :press_mon@minedu.government.bg

・環境・水省

住所 :67, W. Gladston St.

電話:940-6000

FAX :981-1185

URL:<http://www.moew.government.bg/>

E-mail :feedback@moew.government.bg、kshavuleva@moew.government.bg

・国防省

住所 :3, V. Levski St.

電話 :922-0922

FAX :987-9693

URL :<http://www.md.government.bg>

E-mail :presscntr@md.government.bg

・法務省

住所 :1, Slavianska St.
電話 :9-1408
FAX :981-8170
URL :<http://www.mjeli.government.bg>
E-mail :pr@mjeli.government.bg

・経済省

住所 :8, Slavianska St.
電話 :940-7416
FAX :987-2190
URL :<http://www.mi.government.bg>
E-mail :public@mi.government.bg

・地域開発・公共事業省

住所 :17-19, Sv. Sv. Kiril i Metodii St.
電話 :9-4059
FAX :987-2517
URL :<http://www.mrrb.government.bg/>
E-mail :press@mrrb.government.bg

・運輸・通信省

住所 :9, Dyakon Ignatii St.
電話 :940-9771、987-5750
FAX :988-5094、987-4942
URL :<http://www.mtc.government.bg/>
E-mail :press@mtc.government.bg

・労働・社会福祉政策省

住所 :2, Triaditsa St.
電話:9-1408
FAX :986-1318
URL :<http://www.mlsp.government.bg>
E-mail :mlsp@mlsp.government.bg

・大蔵省

住所 :102, G. S. Rakovski St.
電話 :9-8591
FAX :987-0128
URL :<http://www.minfin.bg>
E-mail :feedback@minfin.bg

・エネルギー・エネルギー資源省

住所 :8, Triaditza St.
電話:987-8425
FAX :986-5703
URL :<http://www.doe.bg/>
E-mail :pressall@doe.bg

・中小企業庁

住所 :2, Triaditza St.
電話 :981-6600

FAX : 986-1899
URL : <http://www.asme.bg/>
E-mail : office@asme.bg
・ブルガリア品質生産性センター
住所 : 58, W. Gladston St., ap.10
電話 : 980-7234
FAX : 980-1637
E-mail : bqpc@cablebg.net

(8) 有用サイト

- <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/index.html> (外務省「各国・地域情勢」)
- <http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/index.html> (外務省「渡航関連情報」)
- <http://www.bcci.bg/bulgarian/> (ブルガリア商工会議所)
- <http://www.capital.bg> (新聞「キャピタル」)

Part 2 生活情報

※「生活情報」は特に記載のない限り、ブルガリア駐在員事務所のあるソフィアの情報を中心に掲載しています。

1. ホテル、住宅



Yellow Page

1-1 ホテル

ケンピンスキー・ホテル・ゾグラフスキー(旧ニュー・オータニ)とホテル・シェラトン・ソフィア・バルカン、ホテル・ラディソンが5つ星の最高級ホテルとなっている。

主なホテルは次のとおりである。(詳細はイエローページを参照)。

- ・ケンピンスキー・ホテル・ゾグラフスキー
- ・ホテル・シェラトン・ソフィア・バルカン
- ・ホテル・ラディソン
- ・ソフィア・プリンセス・ホテル
- ・ホテル・ロディーナ
- ・グランドホテル・ブルガリア
- ・パーク・ホテル・モスクワ
- ・ホテル・プリスカ
- ・ホテル・リラ



ケンピンスキー・ホテル・ゾグラフスキー



ホテル・シェラトン・ソフィア・バルカン

1-2 住宅事情

ソフィア市内はアパートが中心で、一戸建ては少ない。物件数が少ないため、住居探しには時間と労力が必要であるが、近年は自宅などを外国人に貸したいという人が増えており、比較的容易になってきている。特に日本人は歓迎されている。

最近では住宅斡旋会社も見られるようになったが、適当な物件を適当な金額で見つけられるとは限らない。

新聞広告なども1つの手段であるが、知人などを通じて探すのが無難である。日本人(大使館員、商社員など)は、外交官用アパートを借りているケースも多い。家賃は広さによって異なるが、1カ月1000米ドルぐらいからである。1階入口には管理人がおり、盗難などの防止に努めている。

治安を考慮して、ドアの補強、防犯装置、窓ガラスに鉄格子を取り付けるなどの対策を講じることが望ましい。

熱源には主に電気を使用している。ガスは、自らガスボンベを購入するが、ガ



ホテル・ラディソン

スが切れるとポンペを持参して充填に出向くことになり、不便である。

ソフィア市中心部は、温水供給システムになっている家屋が多い。冬はこの温水供給システムにより、スチーム暖房が入る。スチーム暖房費は2LDK(70平方m)で約40米ドル程度である。



住宅(アパート)

1-3 住宅の探し方

斡旋会社を利用するほか、知人の紹介などの方法がある。一般には知人やスタッフの協力を得て探すのが望ましい。

Yellow Page JICA関係者がよく利用する不動産会社にはNAKIT Groupがある。

1-4 住宅選定上の留意点

特に次の点に留意し、確認すること。

<環境>

交通量が多くなく排気ガス・騒音の問題がないこと、または防犯対策が講じられていること。公園の近くなど静かで大通りに近い場所が望ましい。

<利便性>

交通の便がよく中心街に近い場所が望ましい。

<防犯>

できるだけ上の階(3階以上)がよい。ドアなどが頑丈な造りで窓ガラスに鉄格子があること(または取り付け可能)、警報アラームの取り付けが可能であること、夜間、家の周囲が明るく、犯罪発生例のある地域でないことなど。

<設備>

家具付きか否か、温水が出るか、セントラルヒーティング、電話、バスルームの有無、エアコンがあるか、またはエアコンなどの室外機を取り付けられる場所やバルコニーがあるか、壁紙は新しいか、車庫の有無など。

<規模>

家族や使用人(一般的ではないが住み込みの場合)の数に見合った十分な広さと部屋数があるか。

<老朽度>

壁が崩れていないか、亀裂が入っていないか、雨漏りしないかなど。新築よりもむしろ古い建物のほうが頑丈な場合もある。

1-5 住宅の契約

住宅の契約は家主との交渉による。支払い方法は月ごとが一般的。保証金はないことが多い。家具付きアパートの家賃は1000米ドルからである。

契約に際して注意することは、契約期間、支払い方法、デポジットの有無およ

び電気・水道・暖房料金が家賃に含まれているかを確認することである。

1-6 ガス、水道などの手続きと管理

毎月、電話、水道、電気などの公共料金の請求書が届く。それぞれ指定されたところに支払う。請求内容は1カ月前の使用料である。使用人や家主に支払ってもらおうなど工夫するとよい。使用開始の申し込みは、それぞれの担当局に依頼する。ただし、賃貸契約開始日までにこれらの申し込みを家主がしておくのがふつうである。

1-7 家電

(1) 電圧

ブルガリアの電圧と周波数は220V、50Hzである。

現地で購入する場合には問題はないが、日本仕様の電化製品を持参する場合は変圧器が必要である。日本から持参する場合は220V、50Hz仕様のものを選ぶこと。

(2) コンセント、モジュージャックの形

モジュージャックの形状は日本と同じである。プラグ形状はタイプC-4である。日本製品を使用する場合にはアダプターが必要である。

(3) 家電製品

<日本から持参したほうがよいもの>

変圧器、電気炊飯器、加湿器。

<現地で調達できるもの>

上記以外、ほとんどのものが購入できる。



コンセントとプラグ



モジュージャック

1-8 家具保険

火災、盗難、自然災害による損害をカバーする家具保険があり、高価なものなどにかけることができる。



代表的な保険会社にDZI(デージーイー)がある。

1-9 その他

風呂場は亀裂が入ったりカビが生えたりしやすいので、風通しをよくしてペンキを塗ったりするなど工夫している。床が板張りの場合は、市販のワックスなどをこまめに塗るとよい。

住宅にはブレーカーがついていない場合もあるので、アンペア数を確かめてからヒューズ(現地にある)を購入しておくるとよい。ヒューズはブルガリア語で「ブシヨン」といい、日本のものとは形が違うので注意が必要である。

通常、住居の近くにゴミ箱があり、毎朝回収される。トイレは水洗である。アパートでは温水供給が切れる時期(20日間前後)が1年に1回はあるので、独自の電気ボイラーを購入し、取り付けを勧める。大きさはさまざまであるが、25cm四方程度の電気瞬間湯沸かし器・シャワーが便利である。値段は100米ドル前後のもので十分である。

一戸建ては、温水供給システムやスチーム暖房を備えていないことが多いので注意すること。

2. 衣料、理容



2-1 衣料全般

(1) 一般事情

四季がある。ソフィアは標高550mで、盆地のため寒暖の差が大きい。夏の日中気温は摂氏32度前後で、湿気は比較的少ない。冬の日中気温は0度前後、最低気温は零下10度前後である。ひと冬に1~2回は零下25度まで下がることもある。積雪量はそれほど多くない。

近年、過去と比較して気温が少し上昇している。

首都ソフィアの平均気温は次のとおりである(資料 : 国立統計局、2000年)。
年間平均気温 : 摂氏11.5度。

1月零下4.1度、2月1.6度、3月5.6度、4月13.2度、5月16.7度、6月19.8度、7月23.2度、8月23.0度、9月16.1度、10月11.2度、11月9.1度、12月2.3度。ソフィアの住宅は、一般にスチーム暖房(温水供給システム)設備を備えているものが多いが、スチームが切れる春先と秋スチームが始動する前には、厚着をしたり、電気・石油・ガストーブなどを使用する必要がある。

ソフィアには多くの衣料品店があり、国産品をはじめ、輸入衣料品(イタリア製、ギリシャ製、ドイツ製、フランス製、トルコ製、韓国製、中国製、アメリカ製、イギリス製、台湾製など)が販売されている。

靴も、前述のものに加えてスペイン製もある。品質はさまざまで、価格は30米ドル前後から良質なもので200米ドル、高級なものは300米ドル以上である。しかし、小さいサイズは入手が困難な場合がある。また、履き心地のよいものや気に入ったデザインが見つからない可能性もあるので、何足かは持参することを勧める。

現在、ブルガリアはファッションブームであり、多くのデザイナーが活躍している。また、高級ブランド品も入ってきている。

(2) 日本から持参したほうがよい衣料

男性、女性、子供、乳幼児にかかわらず、必要な衣類(下着類も含む)はひととおり持参したほうがよい。現地で出回っているのは日本のLサイズ以上が主なので、特にサイズの小さなものと品質のよいものは持参したほうがよい。

女性用下着も各種販売されているが、日本のSサイズに相当するものは少ない。

最近は、さまざまな店ができていますが、流行のデザインを見つけることは日本ほど容易ではない。

(3) 現地で調達したほうがよい衣料

品質、デザイン、サイズなどにそれほどこだわりのない場合には、一般に着用するセーター類、ワイシャツ、毛皮製品などはブルガリアで購入すればよい。

(4) その他の留意点

サイズの表示は、生産国やメーカーによって異なる。国際的なサイズ表などで確認するとよい。

2-2 礼装

(1) パーティー

日本大使館での新年会や、ソフィア日本人会主催の忘年会などがある。一般的に、男性はスーツ、女性はスーツまたはパーティー用スーツやカクテルドレスなどで通用する。特に改まったパーティーの場合、男性はタキシード(女性はカクテルドレス)を着用するが、一般にはスーツでよいため、日本でタキシードを新調して持参する必要はない。必要が生じた時は現地で購入すればよい。

(2) 式典

天皇誕生日には日本大使館にブルガリアの知識人、政府関係者、各国大使および大使館関係者が招待される。

ブルガリアの解放記念日(3月3日)などのパーティーには正装で行くこと。

(3) 冠婚葬祭

結婚式に出席する場合は上品で優雅な服装を心がけ、白い花をつける。葬儀には黒い服を、洗礼式には上品な服を着用する。

(4) その他の留意点

フォーマルな衣服、黒い服、上品で優雅な服などを用意すること。和服などは特に必要ない。

2-3 洗濯、仕立て、修繕、保管

(1) 洗濯

クリーニング店(ドライクリーニング、ブルガリア語では「ヒミチェスコ・チステネ」)は比較的多い。営業時間は10:00~18:00、一般に土曜日と日曜日は定休日である。アイロン、洗濯機などは現地で購入できるので持参する必要はない。



主なクリーニング会社は次のとおりである(詳細はイエローページを参照)。

- ALPIA, J.S.Co.
- Dobi77-Stefan Simov, S.B.Co.
- Elf-Iskra Ivanova, S.B.Co.
- Meder, S.B.Co.
- Sevan, S.B.Co.

(2) 仕立て、修繕

一般的な市民、外国人はあまり利用していないが、紳士服、婦人服の仕立て・修繕店がある。仕立代は店により異なる。

次のような店がある。



- ・AGNES, S.B.Co.
- ・Liubie-Doichinov, S.B.Co.

(3) 保管

ナフタリン、防虫剤は、薬局やスーパーマーケットで購入できるが、日本から無臭の防虫剤を持参してもよい。

2-4 美容院、理髪店

一般的な技術料は、男性はカット7～10レヴァ、パーマ25～30レヴァである。女性はカット7～12レヴァ、シャンプー2～3レヴァ、パーマは25～30レヴァである。美容・理髪用品は一流メーカーの製品が販売されているが、特殊なものや日本製品は入手困難である。

技術的には理容師によってさまざまであるが、若い世代の理容師は西欧レベルに近い。

3. チップ



3-1 チップ事情

(1) 習慣の有無

チップの習慣あり。

(2) 各種サービスに対するチップ

ホテルのボーイには荷物1つにつき2レヴァ程度(米ドルの場合は1米ドル程度)、ルームメイドには1レフ、レストランでは料金の1割程度が相場である。

4. 食生活



4-1 外食

(1) 一般事情

ソフィア市中心地には多くの飲食店が開店している。喫茶店は軽食のできることも多くなってきている。レストランはブルガリア料理をはじめ、イタリア料理、西欧・地中海料理、中国料理が多い。ファミリーレストランのようなチェーン店も見られるようになった。

通常のレストランの料金は、サラダ、メイン、グラスワインなどで10米ドル程度である。

(2) 飲食店

レストランを予約する際、多人数の場合は予約金を支払わなければならない場合もある。予約金は、レストランにより異なる。日本人が利用するレストランは次のとおりである(詳細はイエローページを参照)。

レストランでの支払いはテーブルで済ませる(レジなどで支払うことは少ない)。

<日本料理>



・桜

・Cool House Biblioteka「SUSHI」Bar(寿司)

<民族レストラン(ブルガリア料理と民族ダンス)>

・ボヤンスコハンチェ

・ヴォデニツァ

<ブルガリア料理>

・ローゼネッツ

・コンチネンタル・プラザ

・バイ・ゲンチョ

・プチェラ

・ブルガリー

<中国料理>

・大東方

<韓国料理>

・コレアンハウス

<イタリア料理>

・パルマ

・アルレキーノ

・ボルサリーノ

・サン・ヴァレンティーノ

・ルチャーノ

<フランス料理>

・プレスラフ

・Keltic

・サントロペ

・ル・ガルソン

<西欧・地中海料理>

・パノラマ

・バルカン

・ステナタ

・33 CHAIRS

・メテオル

<ギリシャ料理>

・ファンタジー

<ロシア料理>

・クリーム

<メキシコ料理>

・メクシカーノ

<ブラジル料理>

・リオ

<アラブ料理>

・パールベク

<ブルガリア・ヨーロッパ料理>

・ヴイトシャ

・ルサルカ

・ルチャーノ

<魚料理>

・ズラットナ・リプカ

<チェーンレストラン>

・ハッピー

<ファストフード>

・ケンタッキーフライドチキン

・マクドナルド

・ピザハット



クリーム



ハッピー

4-2 食料

(1) 一般事情

ブルガリア産のほか、ヨーロッパ諸国、アジア諸国、北米、南米などからの輸入食品が、かなりの割合で入ってきている。概して国産品は輸入品より安い。たいていのものは入手可能であり、外国人が食生活に不自由を感じることはほとんどない。ただし、日本製品はない。しょうゆも日本製品はなく、シンガポール製、中国製が主である。

大きなスーパーが近年開店し、1カ所で食品の買い物ができるようになり買い物の便はよくなった。食品の衛生管理は比較的整っている。

(2) 主な食品の出回り状況

<米>

多くの食料品店、スーパーマーケットでブルガリア産米やタイ米、エジプト米、イタリア米(輸入)そのほかを販売している。価格は1パック(1kg)1~2レヴァ前後である。カリフォルニア米などをPeter Justesenなどの通信販売で購入している人もいる。

<パン>

一般の食料品店では、大きなコッペパンのようなもの、フランスパン、ジャム入りパンのほか、食パンなどが売られている。また、中心街にあるパン専門店など

では、菓子パンを含むさまざまな種類のパンが販売されている。

<めん類>

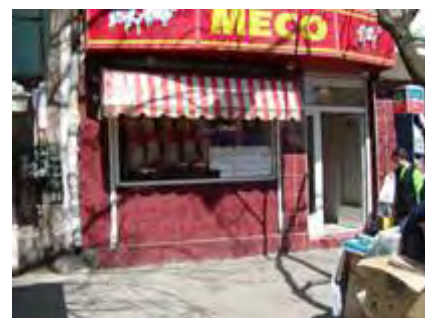
スパゲティが主である。ブルガリア産のほかギリシャ製、イタリア製、ドイツ製品が一般的である。そのほか、ラビオリ(冷凍品、熱湯でゆでる)、イタリア製のトルテリーニ(乾燥品、熱湯でゆでる)やラザニア(冷凍品、解凍後オーブンで約15分間焼く)、ドイツ製のハウレンソウなどの野菜入り乾めんも販売されている。

中国雑貨店では中国製のめん類が販売されている。

<肉類>

スーパーマーケット、肉専門店で購入する。

牛肉、豚肉、鶏肉、羊肉、ウサギ肉などがある。近年、国内畜産業者の経済的困窮などの理由から輸入物が多くなっている。鶏肉は、1羽ごと冷凍したもののほか、



肉専門店

胸肉、もも肉などに分けたパック詰めもあり、スーパー以外にも一般の食料品店でも販売していることが多い。羊肉、ウサギ肉はシーズンにもよるが、常時販売しているところもある。

<野菜>

スーパーマーケット、青果店または市場で購入する。近年、輸入品が大きな割合を占めるようになり、野菜は一年中絶えることなく流通している。購入できる野菜として、トマト、キュウリ、ジャガイモ、タマネギ、ピーマン、ニンジン、キャベツ、セロリ、カボチャ、ナス、ハウレンソウ(冬場)、レモン、レタス(日本のものより縦長)、イノンド(ディル、セリ科のハーブ)、白菜(輸入品)、長ネギ(冬季のみ)、トウモロコシ、トウガラシなどがある。ネギなどの季節の野菜は、まとめて購入して冷凍庫に保存しておくのもよい。

瓶詰めのピクルス、ピューレなども一般食料品店で購入できる。ドイツ製、イタリア製などの野菜の缶詰(トマト、アスパラガス、カットしたハウレンソウ、ミニキャベツ、モヤシ、ニンジン、豆、ジャガイモ、ミックス野菜など)もある。

また、スーパーなどでは冷凍野菜も常時販売している。

<果物>

リンゴ(青、赤、黄)、バナナ、オレンジ、マンダリンオレンジ、ブドウ(マスカットほか。シーズンには多くの種類が出回る)、モモ、キイチゴ、キウイ、洋梨、イチジク、アズ、アボカド、スイカ、イチゴ、チェリー、メロン(マスクメロンはほとんど出回らない)、パイナップル、マンゴー、



ジェンスキーパザール

ココナツなどが購入できる。近年は、季節によらずに常時出回っている果物の種類が多くなってきている。一般にブルガリア産のほうが輸入品より品質が低い場

合が多く、その分少し安い。また輸入もののほうが種類も豊富である。

<乳製品>

個人商店やスーパーマーケットなどで購入できる。牛乳はブルガリア産と輸入品のロングライフ牛乳(1、1.5、2リットル、乳脂肪0.5、1.5、3%、ドイツ製とフランス製が主)が一般である。イチゴ風味など風味がついた牛乳もある。

ブルガリア産のチーズには、白チーズ(ブルガリア語で「シーレネ」、フェターチーズに似た塩味の強いチーズ。牛乳から作るもの、羊乳から作るもの、ミックスなどがある)とチーズ(ブルガリア語で「カシカバール」、日本のプロセスチーズに似ている)がある。輸入品にもフランス製、ドイツ製を主としてさまざまな種類のチーズがある。

ヨーグルト(ブルガリア語で「キセロムリャコ」)にもブルガリア産(プレーン、砂糖入り、イチゴ、キイチゴ、アンズ風味など)と輸入品がある。

バター(ブルガリア語で「マスロ」)は、ブルガリア産とフランス、ドイツ、デンマークなどからの輸入品がある。

<魚類>

魚専門店やスーパーで購入する。ほとんどが輸入(特にギリシャ)の冷凍物である。サバが多く、そのほかにアジ、イカ、タコ、サメ、カレイ、エビ、コイ、ニジマスなどがある。ただし、時季により種類は異なる。マスは冷凍でない生もある。そのほかにカツオなどの薫製なども見られる。また、パック詰めのスモークサーモン、キャビアも販売されている。一般食料品店でもイカのリング揚げ、白身魚のフライ、車エビ、小エビ、かまぼこ、シーフードグラタンなどの輸入冷凍食品を扱っていることが比較的多い。

<調味料>

食料品店、スーパーまたは市場で購入する。ブルガリア独自の調味料を含む多くの製品が販売されており、近年は国外有名ブランドの調味料もある。食用油は食料品店、スーパーマーケットで販売されている。ブルガリア産のヒマワリ油、輸入品のオリーブ油、大豆油、コーン油などがある。酢には、ワインビネガーとサイダービネガー(リンゴ酢)がある。

<酒類>

食料品店、スーパーマーケット、デパート、専門店で購入する。専門店では有名ブランド品も販売されている。ブルガリア産のワインやラキヤ(蒸留酒)は、輸入品と比べ、安価で購入できる。ラキヤには数種類ある。代表的なものとしてスリボヴァ・ラキヤと呼ばれているスモモ酒、グローズドヴァ・ラキヤといわれるブドウ酒がある。日本酒は販売されていない。

<飲料水>

1994年末から数カ月間、水不足から「3日断水、1日給水」がシステム化されたこともあったが、その後首都ソフィアに限っては深刻な水不足は起こっておらず、常時水道水の使用が可能である。しかし、水道管の老朽化により水質が低下しているため、ミネラルウォーターの使用を勧める。ミネラルウォーターは食料品

店で常時販売されている(1.5リットルで0.5レヴァ前後)。ブルガリア産がほとんどであり、「ゴールナ・バーニャ」「ヒサーラ」「デヴィン」などが主な銘柄である。

次にブルガリアの食卓によくのぼる料理を紹介する。

<サラダ>

シヨップスカ・サラタ : 1~2cm角に切ったキュウリ、トマトにタマネギのみじん切りを加え、その上にシーレネ(白チーズ)をかけたもの。酢とオイルをかけて食べる。クルミを加えたものもある。

メッシュェナ・サラタ : キュウリとトマトをスライスしたもの。酢とオイルをかけて食べる。

ルスカ・サラタ : 「ロシア・サラダ」の意味。ゆでたジャガイモとニンジン角切りにし、グリーンピースとピクルスを加え、マヨネーズであえたもの。日本のポテトサラダに似ている。

スネジャンカ : 「白雪姫」の意味。細かく角切りにしたキュウリにクルミを加え、ヨーグルトであえたもの。ヨーグルトは絹ごしされたものを使用するとよい。

メキシカンスカ・サラタ : メキシコ・サラダ。コーンにブロッコリーなどの野菜やニンニクを加え、酢で味付けする。

キョップル : 焼いたナスの皮をむき、すり鉢でピューレ状にしてから酢とニンニクで味付けする。

<スープ>

タラトール : 夏向きの冷たいスープ。ヨーグルトを薄めたものに、小さく角切りにしたキュウリ、ニンニク、クルミ、コッパル(イノンド、セリ科のハーブ)などを加えたもの。

テレシコ・ヴァレーノ : 牛肉、ニンジン、ジャガイモを煮込んだ、あっさりスープ。

シケンベ・チオルバ : 内臓を煮込んだもので、ニンニクと混ぜた酢、パプリカや赤トウガラシを加えて食べる。味付けにヨーグルトを使うこともある。

コルバン・チオルバ : レバー、卵、野菜のスープ。

<メイン・ディッシュ>

キュフテ : ブルガリア風のミニ・ハンバーグ。

ケバプチェ : 細長い肉団子。

シシチェ : 牛肉、豚肉、鶏肉などの串刺しをグリルしたもの。

ギュベッチ : 肉と野菜をブラウンソースなどで土鍋焼きにしたもの。

カヴァルマ : ギュベッチに似ている。トマトソースを使い、卵をのせて土鍋で焼く。

ヴァレテノ : チーズ、マッシュルーム、ハーブを豚肉で巻いて焼く。

(3)食料の入手

近年首都ソフィアには大中小スーパーマーケットがオープンしたため、食料品の購入がより便利になった。日本製品を除き、食料品はそれらスーパーで揃う。韓国製、アメリカ製、ベトナム製、中国製のインスタントラーメン、カップめんなどは一般食料品店でも購入できる。また、シンガポール製、ポーランド製などのしょ

うゆも購入可能である。日本製品は入手できず、通信販売を頼ることになる。そのほかの食料品は一般の食料品店で購入可能である。

<スーパーマーケット>



・ビラ

・ラムストア

<中国食材店>

次の中国食材店では豆腐、モヤシ、しょうゆ、干しシイタケ、はるさめ、缶詰などが入手可能である。

・国貨商機

豆腐などは、中国料理店・食材店などで購入することもできる。ただし、絹ごし豆腐のような滑らかなものはない。



国貨商機

商店の営業は月曜日から土曜日までが一般的で、営業時間は月曜日から金曜日は9:00～19:00、土曜日は9:00～17:00が一般的である。近年は日曜日に営業している店も見られるようになった。

4-3 食器、調理器具

(1) 食器、調理器具などの入手

台所用電化製品はドイツ製、イタリア製、スロベニア製が主流で、そのほかにトルコ製、ポーランド製、ハンガリー製、ロシア製がある。最新の電化製品をはじめ、調理器具、食器類などが輸入されており、和食器以外はたいいていのものが購入可能である。

ディスカウントはほとんどなく、日本より割高なものもある。

(2) 日本から持参したほうがよい食器、調理器具

日本独自の食器、調理器具は、必要であれば持参するとよい。炊飯器も良いものは出回っていない(中国製の古い型のものは見受けられる)ので持参を勧める。

電気式の深鍋、ホットプレート(小さいものは見かけるようになった)を持参するのもよい。そのほか、必要に応じてすり鉢や日本製の包丁などを持参するとよい。ブルガリアの電圧・周波数は220V、50Hzであり、日本仕様の電化製品を持参する場合は変圧器が必要である。プラグ形状はタイプC-4である。

5. 生活用品の購入 5-1 家電製品

家電製品を購入できる主な店は次のとおり(詳細はイエローページを参照)。



・テクノポリス

・テクノマーケット

5-2 家具

ブルガリア産のほか輸入家具も多い。多くの取扱店や会社があるので容易に購入でき、注文製作も可能である。参考までにいくつかの家具メーカーを記す。

 Yellow Page

- ・Kochen
- ・Neoset



テクノポリス

5-3 日用品、雑貨

日用品・雑貨を扱う小売商店が各地区にあるが、近年開店した大型スーパーで購入するのが便利である。またオフィス製品のスーパーもある。

 Yellow Page

- ・METRO
- ・Office 1 Superstore

5-4 工具、素材

近年、工具、素材を取り扱う大型スーパーが開店した。

 Yellow Page

- ・ミスター・ブリコラジュ



ミスター・ブリコラジュ

6. 金融機関



6-1 金融機関

(1) 銀行

多くの銀行があるが、代表的なものは次のとおりである(詳細はイエローページを参照)。

 Yellow Page

- ・National Bank of Bulgaria (BNB :ブルガリア・ナショナル銀行)
- ・Bulbank AD(ブルバンク)
- ・Bulgarian Post Bank(ブルガリア郵便銀行)

ブルガリア通貨の紙幣は1、2、5、10、20、50 レヴァ(単数はレフ)。硬貨(ストティンキ。1レフ=100ストティンキ)は1、2、5(金色)、10、20、50(銀色)である。

(2) 口座の開設と閉鎖

銀行口座の開設は、外国人窓口に行き、様式に口座の種類(ドル口座、ユーロ口座、レヴァ口座)とともにパスポートデータなどを記入し提出する。銀行との口座開設契約書にサインし、銀行カードをもらい、口座に入金する。銀行により最低預金額があるので確認すること。

ブルガリアでは書類取り扱い窓口と現金取り扱い窓口が異なっている。口座の閉鎖は、様式に記入し窓口へ提出する。この時、開設時に作成した口座開設契約書が必要なので、紛失しないように保管しておくこと。

(3) 小切手

ブルガリアでは小切手は通常利用されていない。

(4) 換金方法

銀行窓口やホテル、または民営の両替所で両替をする。通常、両替所のレートは銀行よりよい。特別な手続きはないが、銀行での両替にはパスポートが必要。民営の両替所の場合には手数料の有無を確かめること。手数料なしと表示されていても一定額以上になると手数料がかかる両替所もある。

T/Cは銀行で換金できるが、一般に換金率が低い。日本円からの換金は、一般的に銀行、ホテルで可能である。

6-2 クレジットカード

一般に、クレジットカードを使用できる場所は少ないが、使用できる店やレストランが徐々に増えていることも確かである。比較的多くの場所で使用できるクレジットカードは、MasterCard、VISAである。Diners Club、American Expressを使用できる場所も徐々に増えてきている。ATMからの現金引き出しは可能。

7. 交通事情



7-1 交通手段

(1) 一般事情

首都ソフィアの交通手段には路面電車、トロリーバス、バス、タクシーがある。また、運行区間は短いが地下鉄もできた。

<路面電車、トロリーバス、バス>

路面電車、トロリーバス、バスの運行網は都市内を網の目のようにカバーしている。運行時間は5:00～深夜0:00過ぎと長く、日中は5～15分間隔で来るので便利である。各停留所には、車両の番号と行き先を示す小さな看板がある。運転間隔が短いため、時刻表はない。定期やチケットは最寄りの場所で購入しておく。

乗車料は、市内全域1人0.5レヴァである。チケットの場合は自分で車内の穴あけ機で穴をあける。最近では車内にスリが多いので、ショルダーバッグなどは胸の前でしっかりと持つこと。

<タクシー>

タクシーは日本と同様に、電話で呼び出したり、手を挙げて拾う。タクシー乗り場もある。国営、民営のタクシー会社のほか、個人タクシーがある。法人タクシーの料金は各社それほどの差はないが、個人タクシーの料金はさまざまであり、時には法外な料金を請求されることもあるので注意が必要である。このようなタクシーは、大きなホテルの前や近辺、ヴィトシャ通り、裁判所前(旧国立歴史博物館前)に待機していることが多い。これらの場所では流しのタクシーを拾ったほうがよい。必要に迫られてこれらの場所で待機しているタクシーを利用する場合は、乗車前に料金を交渉しておくこと。近年、タクシーの車体の色はすべて黄色に統

一され、また、料金の表示が義務づけられたため窓ガラスに料金が表示されている(ただしブルガリア語。kmと書いてあるものが1kmの料金である)。

<鉄道、長距離バス、飛行機>

鉄道(総全長6518km)、長距離バスは各都市に運行網を持っている。飛行機は、ソフィア～ヴァルナ間とソフィア～ブルガス間で運航されている。近年は民間バス会社数社も毎日頻繁に各都市間の運行を行っている。

鉄道などを利用する際は、あらかじめチケットを予約または購入し、発車・到着時間を確認する。鉄道ではスリなどの被害が増えているので注意が必要である。

国内の道路は総全長3万7301kmである。そのうち、アスファルト舗装されているのは3万4335kmで、全体の92%である。高速道路網が完備されていないので、地方に行く場合は時間を要する(資料 : 国立統計局、2000年)。

そのほか、河川輸送と海上輸送がある。

(2) 空港から市内への移動

バスまたはタクシーが一般的である。空港に待機しているタクシーは空港と契約しているOKタクシーで、良心的である。知人などに出迎えに来てもらうか、空港ロビーのタクシー&ホテルサービス、またはレンタカー会社などを通じてレンタカー(運転手付き)を雇ってホテルなど目的地へ移動してもよい。

空港はソフィア市内に位置しており、ソフィア市中心部まで米ドル換算にして5米ドル程度が一般的である。空港内ロビーで近寄ってきて「タクシーはいらないか?」と聞いてくる者の車には乗らないこと。

レンタカー(運転手付き)の料金はソフィア中心部まで20~30米ドル。

(3) 自家用車を利用する場合

石畳の道路もまだ多い。石畳では揺れがひどく、雨や雪などで路面が濡れるとスリップしやすい。また、冬場は路面に穴があいていることがあるので、特に注意を要する。

古い自動車の走行が多いため、車間距離を十分にとるなど、状況を考えて運転が必要である。また、割り込み、急な追い越しなど日本と異なる運転マナーがあるので、慣れるまでは十分な注意が必要である。

市内中心部での駐車違反車は、レッカー車で移動されるので注意すること。

(4) レンタカーなどを利用する場合

レンタカーは車両のみ、または運転手付きで利用できる。車両のみのレンタル料金は、会社によって多少の違いはあるが、一般にヨーロッパ統一料金である。

運転手付きの料金は、ベンツでソフィア市内1時間の場合、10米ドル前後である。市外は走行距離で加算される。

レンタカーを利用する際は予約しておくほうがよい。左ハンドル車しかないので注意すること。

レンタカー会社は次のとおりである(詳細はイエローページを参照)。



- ・AVIS
- ・Hertz
- ・インターカー(通称)
- ・プレステジュー・エグゼキュティブ・レンタカー

(5) 地図

道路地図、市内地図はホテル、書店、Slaveikov Sq.の書店街、街頭の新聞売り場などで入手できる。鉄道路線図、長距離バス路線図は入手できない。

7-2 交通事故、盗難

(1) 対処方法

事故に遭った場合は、JICA/JOCVブルガリア駐在員事務所(電話 : 02-971-2170/3763)と大使館(電話 : 02-971-2708)に連絡する。同時に警察(電話 : 166)に通報すること。人身に被害があった場合は救急車(電話 : 150)を手配する。

(2) 救急病院

救急病院は次のとおり。



- ・N. I. Pirogov(通称ピロゴフ)

(3) 車両の盗難、車上荒らし

盗難件数が特に多いのは新車。車種ではベンツ、BMWなどである。

盗難防止のアラーム装置を取り付け、車庫や監視員付きの有料パーキングを確保すること。市内に路上駐車をする時にも必ず盗難防止対策をとること。

車両の盗難に遭った場合は、警察に通報して指示を仰ぐ。その後警察署へ出向き、盗難届けを所定の様式で提出する(保険会社へも届けること)。その際、保険会社へ提出する書類の受け取り日を確認すること。指定された日に保険会社へ赴き、保険金の受け取り日を確認する。保険金の受け取りは保険会社によって異なり、車両盗難の場合は6カ月～1年後となる。通常6カ月間車が発見されない場合は、保険会社が車両価格の30%を支払い、1年間過ぎた場合には残りを支払う。盗難車のうち約60%は発見され、所有者に返還されている。

7-3 交通違反

(1) 交通法規

日本とは反対に車両は右側通行、左ハンドルである。信号機は、赤になる前だけではなく、青になる前にも黄色が点灯するので注意すること。

免許証のほか、車の持ち主証明と車検証明が1つになった、自動車所有者・車検カードとパスポートを、必ず携帯していなければならない。

(2) 罰金、罰則

罰金は、日本と同じく検挙された場で警察官により発行された書類を持って、銀行または郵便局でお金を振り込む。免許証と上記(1)のカードとパスポートの

提示を求められるが、指示があるまで車内に待機すること。

7-4 車の修理

(1) 部品

車の部品を扱う店は多く、欧州車の部品は種類も豊富なので入手は容易である。在庫がない場合は、割高になるが注文取り寄せも可能である。ただし日数を要することがある。日本車の部品は注文取り寄せとなる場合が多い。

(2) 修理工場

修理工場には車種を限定しているものと車種を限定せずにさまざまな車種を修理する工場がある。



- ・ラトラ・モータース
- ・EXPO 2000
- ・Balkan Star
- ・EM Komplekt 33
- ・AnKol
- ・Drumnik

そのほか、多くの個人経営の修理工場がある。技術水準はまちまちである。

8. 通信



8-1 電話

(1) 一般事情

かなり古いアナログ回線交換機とデジタル回線、インタースプートニックの衛星通信による国際回線、携帯電話が一般的である。小さな地方都市に電話をかける場合はかかりにくいことがある。

携帯電話は広く使用されている。多くの機種があり簡単に購入できる。

マイクロウェーブによる国内の長距離回線の増大と市内回線の修理、新型交換機の導入が課題となっており、現在ソフィア市内では、アナログ式回線からデジタル式回線への変換作業が行われている。電話料金は、物価水準および回線状況を考慮すれば割高である。全国の電話機は334万台で、ほぼ1家庭に1台の割合で普及している。

(2) 国内電話

<一般回線>

ダイヤル直通であるが、長距離や小さな地方都市にはつながりにくく、交換手を通したほうがよい場合もある。ただし、電話局の交換機(アナログ式)の故障も少なくない。また、市内通話もアナログ式回線の場合の状態はあまりよくない。

途中で切れてしまったり、正しくダイヤルしてもつながらないか、話し中になることも多い。古い回線では回線1本を2家庭で共用していることが、原因の1つである。同じ電話回線を使用している一方が通話中であると、こちらから発信はできず、もちろん外からかかってきても話し中になってしまう。ただ、現在は、工事

費などを負担すれば1家庭に1本の電話回線が引けるようになってきている。

家庭の電話が故障した場合は、まず電話局の故障担当者に隣近所などの電話を借りて連絡する(電話番号 : 130)。担当者は英語を話せないことが多いので、ブルガリア語を話せる知人に頼んで連絡してもらおうとよい。

故障担当者に、自分の電話番号と故障の旨を伝える。電話局内交換機が原因である場合は、すぐに直してもらえる。そうでない場合は、原因を調査したあと、必要があれば修理に来てくれる。技師を呼ぶ際の手続きは複雑なため、知人やアパートの家主に依頼するとよい。

電話料金は、一般家庭の場合1分間0.09レヴァである。総額にVAT20%が加算される。月額基本料金は、3.5レヴァである。国内の長距離通話料金は、1分間0.36レヴァ。通話料金と、支払期限を示した通知書が毎月送られてくる。それを持参して、各地区の郵便局や電話料金支払所で支払う。通知書を忘れた場合は、自分の電話番号を支払い窓口で伝えること。通知書が送られてきていない場合にも、毎月末日に電話料金を支払いに行ったほうが無難。領収書は支払いのことでトラブルがあった時の証拠となるので、毎回保管しておくこと。支払期限が過ぎた場合は、郵便局ではなく電話料金支払所で支払う。通知書を示すか電話番号を伝え、延滞金を含めた金額を支払う。

<公衆電話>

カード式電話が多くなった。カードは、新聞などを売っている売店などでも販売している。ただし、会社が2種類あるため、カードも2種類ある。度数によって価格が異なる。国際通話もできる。

(3) 国際電話

<一般回線>

ダイヤル直通である。「00」のあとに相手の国番号以下を続けてダイヤルする。コレクトコールはできない。2003年4月現在、一般回線の国際通話料金は次のとおりである。

第1ゾーン(ギリシャ、マケドニア、ルーマニア、トルコ、セルビア) : 1分間0.81レヴァ

第2ゾーン(オーストリア、スイスなど欧州) : 1分間1.08レヴァ

第3ゾーン(日本、アルジェリア、アルメニア、グルジア、イスラエル、カナダ、リビア、マルタ、モロッコ、アメリカ) : 1分間1.29レヴァ

第4ゾーン(その他) : 1分間1.62レヴァ

(4) 携帯電話

通話料金は一般通話回線より割高であるが、所持していると便利である。携帯電話の通話料金は通話契約により異なる。1カ月の基本料金は、エコノミー契約で18レヴァ(約15米ドル、VAT込み)である。通話料の請求書が毎月送付されるので、最寄りの携帯電話会社で支払う。

代表的な携帯電話会社は次のとおり(詳細はイエローページを参照)。



- ・M-Tel(エムテル)
- ・Globul(グローバル)

8-2 電信

(1) ファクシミリ

衛星通信の場合は、問題なく通信のやりとりができるのでこれを使用するとよい。一般回線を使用する場合、アナログ式回線であると、日本からブルガリアへのファクスは直接受信できるが、なかなかつながらなかったり、文字がにじむ場合がある。また、ブルガリアで受信していても日本の発信元にはエラー表示が出る場合も多い。

(2) テレックス

郵便局、ケンピンスキー・ホテル・ゾグラフスキー・ビジネスセンターなどで利用可能である。

(3) 電報

電話140番で受け付けている。料金は次のとおりである。

国内普通 : 0.6レヴァ／～20単語、それ以上は0.03レヴァ／1アルファベット

国内速達 : 0.9レヴァ／～20単語、それ以上は0.03レヴァ／1アルファベット

国内特急 : 1.35レヴァ／～20単語、それ以上は1.35レヴァ／1単語

ヨーロッパ内 : 0.29レヴァ(平均)／1単語

ヨーロッパ以外の国 : 0.6レヴァ(平均)／1単語

(4) インターネット

近年ブルガリアのインターネットは急激に普及してきている。個人でコンピューターを所有している人は少ないが、インターネットカフェが多く見られるようになった。

大きなホテル内のビジネスセンターからは、電子メールの発信も可能。接続コネクターの形状は、日本と同じモジュラージャックであることが多い。

インターネットの費用は次のとおりである。

<環境設定のための費用>

a) 通信ソフトインストール費(マッキントッシュ) : 26米ドル

b) 出張費(セットアップ) : 20米ドル

c) モデム : 300米ドル

d) EUNET Mail(電子メールセットアップ) : 7米ドル

e) Personal EUNET(インターネットセットアップ) : 26米ドル

<月々の使用料など>

a) EUNET Mail(電子メール使用料金) : 20米ドル

b) Personal EUNET(インターネット使用料、～5時間／月) : 13米ドル

c) 電話使用料(10時間／月として) : 250米ドル

(注) 本格的に使用する場合は専用回線が必要になる。

代表的なプロバイダーは次のとおり。



- ・Geo Enterprise Ltd.
- ・Bitex.com

8-3 郵便

(1) 一般事情

手紙や20kg以下の小包は中央郵便局から送ると速やかに目的地に着く。日本への郵便物は、手紙は平均6日前後、小包は10日前後で到着する。日本から現地への郵送物は、手紙は平均10日前後、小包は14日前後かかる。



小包は2kg以下、大きさ1m×1m以下のものならば、どの郵便支局からでも送ることが可能である。それ以上の大きさの場合は、中央駅近くの税関事務所に持参して検査を受け、指示された金額を支払う。いずれにしても、中央郵便局から発送するのが最も速い。郵便局に慣れるまでは、現地の人に付き添ってもらったほうがよい。

小包を送る際の注意と手順は次のとおりである。

- a) 最初に検査を受けなければならない。検査自体は簡単に内容物を見て質問される程度である。
- b) 内容物の検査後、包装担当者に包装してもらう。その包装の上に検査済みであることを示す印をもらい、包装手数料を支払う。
- c) その小包を持って郵送窓口に行き、航空便か船便かを指定して料金を支払う。小型の小包は、自宅または最寄りの郵便支局まで郵送される。大きなものは、中央駅近くの税関事務所の小包保管所まで受け取りに行く。小包保管所から通知書がきたら、その通知書裏面にパスポート番号、名前とサインなどを書き込み持参する。代理人が引き取ることも可能である。引き取りの際、保管料など手数料を窓口で支払う。空港税関からの通知がきた時は、直接空港へ行く。

また、配達料を支払えば小包を所定の場所と時間に配達するサービスもある。配達してくれるのは個人用小包で課税されない場合である。その手順は次のとおりである。

- a) 通知書に記載されている番号に電話して、所定の場所と時間を指示する。
- b) 配達に来た職員に、パスポートと裏面に所定の事項を記入した通知書を提示し、配達料を支払う。

代理人に受け取りを依頼した場合も、手続きは同様である。通知書はブルガリア語で書かれており、配達サービスの電話受付もブルガリア語の場合が多いので、現地の知人に依頼するとよい。

より速く安全に送りたい場合は、EMS、DHLなどのサービスを利用すると確実である。

(2) 課税

300米ドル以下のものは免税である。課税対象は300米ドル相当以上のもの、

芸術品などである。

(3) 国際宅配サービス

国際宅配サービス会社は次のとおり。



- ・DHL International
- ・ブルポストEMS(エクスプレス・メール・サービス)

9. コンピューター



9-1 ハード、ソフト

(1) 調達の方法

パソコン、周辺機器(プリンター、CD-ROMドライブなど)、消耗品の現地調達は可能である。日本のソフトはブルガリアでは入手不可能。

IBM、Macintosh、Compaqなどの代理店がある。日本から持参する場合は、ブルガリアに代理店のアルメーカーの機種を選ぶとよい。

(2) 使用の際の注意

日本からコンピューターを持参する場合、プリンター接続アダプターや器具、変圧器(220V→100V、50Hz)も、日本から持参したほうが無難である。コンセントの形状、電圧に関しては「1-7 家電」参照。

海賊版ソフトを購入・使用しないこと。

(3) 修理

コンピューター本体、周辺機器の修理は以下の店舗で行える(詳細はイエローページを参照)。



- ・VIEWPOINT Ltd.

10. 職場環境、勤務条件



10-1 職場環境、勤務条件

(1) 就業時間

省庁の場合、9:00～17:30。昼休みは12:30～13:00。

(2) 有給休暇

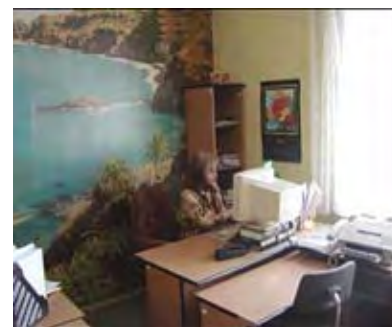
ブルガリア国民の場合一般に20日間。

(3) 執務室

個別に執務室が設けられている。

(4) 通勤事情

ブルガリアの場合には、専門家全員がソフィアに職場がある。ソフィア市内の通勤時間は車で20～30分がふつうである。



専門家の配属先

11. 出入国手続き



11-1 入国

(1) 空港施設概要

ソフィア国際空港では、到着した飛行機からバスで空港建物へ移動する。まず入国審査を受け、その後荷物を受け取り、税関検査を受けて空港ロビーへと出る。特に申告するものがない場合は、グリーン申告なしの通路へ進む。申告するものがある場合は、赤の通路へ進む。空港建物に入ってからロビーへ出るまでの距離は30m程度で、荷物を受け取ってからロビーへ出るまでの所要時間は30分程度である。

出迎えポイントは空港ロビーである。出口は2つしかないのを見つけやすい。空港ロビーには必ず警官が配置されている。

ソフィア国際空港インフォメーション : 02-937-2211 (Dep.)、937-2212 (Arr.)

(2) 入国手続き書類

税関申告書、動植物検疫証明書などがある(入国前のビザ取得が必要。ただし、一般旅券保持者に限り30日以内は不要)。

(3) 入国審査

簡単な会話のみで、込み入った質問などはない。

(4) 税関検査

検疫証明のない動植物などは輸入が禁止されている。近年、麻薬などの密輸が大きな問題になっているため検査されることがある。

ブルガリアの外為法などにより、下記のことを所持している場合は、入国時に書面で税関に申告する必要がある。

- a) 5000レヴァ相当以上2万レヴァ相当額未満の持ち込み、持ち出し(関税レートのため約2500ユーロ相当以上1万ユーロ未満)。2万レヴァ相当額以上を持ち込む場合は、ブルガリア中央銀行の許可が必要になる。
- b) 個人、家族の使用の限度を超えた貴金属や宝石類(種類、重量、価格などは大蔵省令によって定められている)。
- c) 金、銀、プラチナを含んだコイン(種類、重量、価格などについては大蔵省令によって定められている)。
- d) 希少価値のあるブルガリアの貨幣。
- e) ブルガリア人によって発行された株式、社債、借用書、為替手形、小切手、そのほかの証券類。
- f) 外国人が発行した株式、債務、長期債券、投資・信託証明書、小切手、為替手形、借用書、信用状、外国通貨建ての証券類。
- g) パソコン、デジタルカメラ、デジタルビデオ、美術品、ラジオ、カセットレコーダー、TVセット、楽器、コンピューターなど高価な物品とされているもの。
- h) 麻薬、武器は持ち込み、持ち出しともに禁止されている。
- i) 免税額を超えた物品、そのほか、物品の性質や量から、商品として扱うべきもの。

免税扱いになる品物、数量は次のとおりである。

- a) タバコ200本、または250gまで。
- b) ワイン2リットル、そのほかの酒類1リットルまで。
- c) b)以外の飲料物。コーヒー500g、コーヒーエキス200g、紅茶100g、紅茶エキス40gまで。
- d) 香水50ミリリットル、化粧水250ミリリットルまで。
- e) 金(金製品、装飾品)、白金が60gまで、銀が300gまで、金塊、金貨が37gまで。
- f) 15日以上滞在を認められた外国人には、300米ドル相当以下の私物を携帯することが許される。ただし、30日以内にブルガリアに再度入国する者に対しては、消費物資の免税範囲は上記の20%に引き下げられる。
- g) 16歳以下の者の免税範囲は、上記の50%。

(5) 空港内での留意点

盗難、病気などの場合は警察官、大使館に連絡する。それぞれの連絡先(電話番号)は次のとおりである。

- ・日本大使館 : 02-971-2708
- ・警察 : 166
- ・救急車 : 150
- ・ソフィア市立第一病院 : 02-981-0799 (Dr. キトヴァ直通)
- ・ピロゴフ救急病院 : 02-51-531 (24時間受付)

(6) 空港からの主な交通手段

バスまたはタクシーが一般的である。空港に待機しているタクシーは空港と契約しているOKタクシーで、良心的である。知人などに出迎えに来てもらうか、空港ロビーのタクシー&ホテルサービス、またはレンタカー会社などを通じてレンタカー(運転手付き)を雇ってホテルなど目的地へ移動してもよい。

空港はソフィア市内に位置しており、ソフィア市中心部まで米ドル換算にして5米ドル程度が一般的である。空港内ロビーで近寄ってきて「タクシーはいらないか？」と聞いてくる者の車には乗らないこと。

レンタカー(運転手付き)の料金はソフィア中心部まで20~30米ドル。

(7) その他の留意点

空港内の両替所のレートは低いので、必要な金額以外は市内の銀行・両替所で行ったほうがよい。

なお、外国人法(滞在届)により、旅行者などが知人宅(アパート)に宿泊する場合は、入国後、48時間以内に部屋の借主とともに住所地を管轄する最寄りの警察署に出向いて「滞在届」を出す必要がある。ホテルに宿泊する場合は、ホテル側が手続きをする。また、「滞在届」「ホテル宿泊領収書」は、出国審査を受けるまで保管しておくこと。

11-2 出国

(1) 出国時の概要

空港中央の建物が出国用である。チェックイン後、出国審査を行う。出国審査を行う前に荷物のX線検査と税関検査がある。特に申告するものがない場合は、グリーンの申告なしの通路へ進む。申告するものがある場合は、赤の通路へ進む。

(2) リコンファーム

Yellow Page フライトの72時間前までに、ホテルのフロントまたは直接各航空会社に連絡し、確認する(航空会社の連絡先はイエローページを参照)。

(3) チェックイン

チェックインはフライトの1時間半前でよい。

空港建物に入って正面にチェックインカウンターがある。チェックイン後、出国管理、税関検査を受ける。

(4) 空港利用税

航空券代に含まれている。

(5) その他の留意点

動植物検疫証明書はそれぞれの機関で入手する。

入国時申告が正しくなされていれば、出国時、たとえ多額の金品を持ち出す場合でも支障なく出国することができる。ただし、外国人は、持ち込んだ金額、貴金属の総額以上のものを持ち出すことはできない。

出国の際には、以前と異なり、金品使用を証明する換金書・買い上げ証明書などを申告書の写しとともに提出する義務はなくなった。

申告額以上の通貨の持ち出しで、かつ外国からブルガリア国内の口座に送金された通貨を持ち出す場合については、口座のお金が外国から送金されたものであるという証明書、銀行のBordereau(明細書：多額の場合、国立銀行のもの)が揃えば、持ち出し可能となる。しかし、ブルガリア国内で得、(ブルガリアの)銀行口座に入れていた外貨を持ち出す場合には、額のいかんにかかわらず、銀行間の送金しか認められない。

11-3 帰国手続き

(1) 帰国時に必要な事務手続き

ブルガリア滞在中に購入した絵画などの芸術品は、ブルガリア画家協会、文化省を通じて証明書をもらっておくこと。ホテルなどで売っている芸術品は、領収書(できれば印を押したもの)を持参する。

(2) 車の処分

知人、中古車センター、新聞広告などで買い手を見つける。買い手と一緒に登記手続きに行くか、弁護士に依頼する。税金などを支払う。

(3) 家財道具の処分

日本への郵送は、中央郵便局で取り扱っている郵便小包は20kgまで、サイズ

は1m×1mまでである。それ以上の荷物は、中央駅近くの税関所で手続きをする。現地のスタッフや知人などに同行してもらうことを勧める。私品と公品は別々に郵送すること。ブルガリアで処分する場合は知人、家具会社、新聞広告などを通して行うこと。

Yellow Page 輸送会社にはHAMANN-Avimex Itel.Ltd.、SeaHawk International Ltd.などがある。これらの会社に依頼すれば、輸送品リスト、関税申告書の作成、保険および税関コントロールの手続き一切を行ってくれる。

個人で輸送手続きを行う場合は、輸送品リスト、税関申告書の作成、保険会社との契約などを行い、空送の場合はソフィア空港税関、海送の場合はソフィア中央税関で税関コントロールを行う。

(4) 住宅の明け渡し

家主に通知し、諸手続きを済ませる。特別な契約事項(明け渡しの1カ月前までに通知、破損箇所の修理など)がある場合は、それを遂行する。

(5) 外貨持ち出し規制

ブルガリア紙幣は持ち出し禁止である。入国時の申告が正しく行われていれば、多額の金品を持ち出す場合も支障はない。外国人は、持ち込んだ金額、貴金属の総額以上のものを持ち出すことはできない。

12. 治安、 緊急時の心得



※生命・財産に直結することでもあり、治安・安全情報に関しては、各自の責任において最新かつ正確な情報を入手してください。

12-1 暴動、クーデターなど

(1) 一般事情

ブルガリアはご承知のとおり、1989年11月の政変以来、政治的、経済的な大変動の渦中にある。政治的には共産党の一党支配を排し、民主主義を志向するようになり、経済的には、従来大きく依存していたコメコン体制が崩壊して市場を失った結果、工場閉鎖が相次ぎ、高い失業率を招来して、国民は窮乏生活を強いられている。また、最近の通貨(レヴァ)の暴落も、庶民の生活を苦しめる原因となっている。

このような深刻な社会情勢を背景に、「先進国並みになったのは犯罪発生率のみ」といわれるほど、犯罪の発生が高くなってきた。旧体制時代には、社会主義の国らしく治安がよく保たれていたようだが、自由化後は何をやっても自由なのだという誤った意識が蔓延し、また治安のたがが緩んだことも犯罪の多発となって表れているようである。

したがって、ブルガリアに滞在中は、新体制後の「混乱」の渦中にあることを片時も忘れないで、まず自分の身の安全に十二分に注意する必要がある。一般的には、夜間の外出や危険地帯に入ることをしなければ、気候もよく比較的快適に過ごせる場所であるといわれている。また、日常良好な人間関係を築くよう心がければ、周りの人々の保護や援助を得られるに相違ない。

(2) 対処法

緊急連絡網がある。大使館から大使館員、ソフィア日本人会会長などに連絡があり、そこから日本人会会員や、それ以外の在留日本人などに連絡される。

自家用車または公用車などで、指定された場所へ避難する。必要な場合には、大使館員が在留日本人の各家庭に迎えに行く。

持ち出す荷物は必要最小限にすること。連絡内容をよく聞き、避難場所や対処方法を確認しておくこと。

12-2 強盗、盗難

(1) 一般的治安状況

過去に次のような事件が起きているので、十分に注意すること。

- ・バス内などで、かばんを鋭利な刃物で切り、中身を抜き取る。
- ・女性が集団で歩きながら被害者を取り囲み、巧妙に財布を抜き取る。
- ・ホテルのフロントや観光地、バスの車内などで足元や椅子に荷物を置いている人に、1人が話しかけて注意をそらし、もう1人の仲間が荷物を持ち去る。
- ・英語で親しく話しかけて喫茶店などに誘い、睡眠薬入りのコーヒーやジュース、ビスケットなどを勧め、意識を失わせてから所持品を奪う。
- ・英語で親しく話しかけて美術館や博物館などを案内し、入口に預けた荷物を持ち去る。
- ・英語で親しげに話しかけてホテルを紹介する、夕食に誘うなどして連れ出し、待ち伏せしていた仲間と暴行を加え、所持品を奪う。
- ・タクシーの運転手が、目的地に到着後、法外な料金を請求する。被害に遭いやすい場所は、ソフィア中央駅、文化宮殿付近、ボリスの庭(旧自由公園)、聖アレクサンダル・ネフスキー寺院、ヴァイトシャ通り、ホテル・シェラトン付近そのほかである。
- ・ツムデパート、ホテル・シェラトンや両替商の前で、「チェンジ、チェンジ」と呼びかけてくる。相手が両替の意思を示すと、まず金額分のレヴァを渡し、金額を確認させたのち、外貨を受け取る。その後「現金を輪ゴムでとめてやる」といい、目の前で輪ゴムをかける。現金を確かめてみると一番上の札以外は白い紙切れになっているというのが、偽両替商の典型的な手口である。
- ・近ごろは、スキンヘッドによる被害はかなり少なくなった。スキンヘッドはネオ・ナチ的思想(外国人排斥)に基づくともいわれるが、単なる憂さ晴らしであることが多い。最近の事件は、スキンヘッドよりは不良少年による被害が多い。
- ・留守宅から電気製品を持ち去る。
- ・車両を盗む。

(2) 住宅の防犯対策

防犯対策は次のとおりである。

- ・自宅のドアを金属製(鉄製が一般的)にする。木製の場合は厚いものにす

る。

- ・ドアには複数の錠と覗き窓をつける。窓には鉄格子をつける。
- ・外出時には、ラジオなどをつけて留守宅に見えない工夫をする。
- ・夜間の外出は極力避ける。
- ・番犬を飼う。アラームシステムをつける。
- ・自宅に現金などを置かない。
- ・車は車庫に入れる。車庫がない場合は、管理人付きの月極め駐車場などに置く。
- ・盗難保険に加入する。

(3) 市中での防犯対策

- ・路面電車やバスの車内では、バッグなどを体の前に抱えて持つようにする。
- ・複数の女性が近寄ってきた場合は、彼女たちから遠ざかる。
- ・ホテルのレセプション、観光スポット、公共交通機関などで足元や椅子などに荷物を置く場合は、周囲を警戒すること。貴重品は置かず必ず身に付けておく。
- ・見知らぬ人に声をかけられたら、素早くバッグや荷物を身近に寄せる。
- ・相手の陽動作戦に乗せられないよう注意する。
- ・貴金属を持ち歩かない。
- ・特に英語で親しげに話しかけてくる者には注意する。
- ・両替は必ず銀行や正規の両替商で行う。
- ・タクシーを利用する場合は、比較的良心的であるといわれるエクスプレス・タクシー（電話：9-1280）、OKスーパーランス・タクシー（電話：973-2121）、YESタクシー（電話：9-1009）、イネクス・タクシー（電話：9-1919）などを利用する。

(4) 注意すべき場所、危険地域

ジェンスキーパザール周辺ではスリの被害が多い。

NDK(文化宮殿)周辺はスキンヘッド、睡眠薬強盗などに注意。ディスコがあるため特に夜間に注意。中央駅は、置き引き、スリ、睡眠薬強盗に注意する。

(5) 被害時の心得

速やかに警察へ通報するとともに、大使館の領事担当など関係各方面へ連絡をすること。生命の安全を最優先し、抵抗、追跡はしないこと。

保険を請求する場合は警察署に行き、事故証明書を発行してもらう。パスポートの再発給やブルガリアの査証再取得などには、少なくとも約1週間を要するので注意すること。

車両本体や車両部品が盗まれた場合は警察に通報し、警察官の検証を待つ。保険をかけている場合は、警察から事故(盗難)証明書を発行してもらい、それを持って保険会社に出向く。その場で支払い額と受け取り日などを確認すること。

その際、応対した担当者の名前もメモしておくこと。

12-3 火災、風水害、地震

(1) 一般的災害発生状況

2000年夏には、猛暑のため、地方では多くの山火事が発生した。

(2) 防災対策

保険に加入する。食料、飲料水を備蓄しておくこと。

(3) 被災時の心得

速やかに日本大使館に連絡する。避難の際は必要最小限のものを携帯する。

12-4 緊急連絡先電話番号

・日本大使館 : 02-971-2708

・警察 : 166

・消防 : 160

・救急車 : 150

13. 社交



13-1 風俗習慣

ブルガリアはピラミッド型の階級社会であり、上流階級はほんのひと握りである。儀礼を非常に尊重するので、注意が必要である。通常、何事にも女性優先である。

ブルガリアの人々は外国人に対して大変親切であり、特に親日感情を持つ人は多い。土・日曜日などにハイキングに誘われることが多く、気軽に参加してよい。通常、YESは首を横に振り、NOは首を縦に振る。ただし、階級によっては外国人に対しては、YESは首を縦に振り、NOは首を横に振るなど使い分けている場合もある。

土・日曜日はなるべく電話を控えること。平日でも、14:00～16:00(午睡時)と22:00以降は家庭への電話は控えたほうがよい。

「名前の日」を祝う習慣がある。誕生日と同じようにパーティーを開き人々を招く。

祝い事の際は、チョコレートやケーキまたは酒などを知人に振る舞う。招待された時は花束(花の数は奇数にする)やプレゼントを持っていくこと。

クリスマスは家族で静かに祝い、新年は友だちなどのゲストを招待して祝う。

13-2 パーティーでの留意点

パーティーに出席する場合は、女性はもちろんのこと、男性もエレガントな装いが望ましい。それでもスーツ着用が一般的であり、タキシードを着用する機会はまれである。

初対面の人と話したい場合は、まず共通の知人に紹介してもらおうとよい。女性連れの男性と話す場合、会話は連れの女性とも同等に交わすこと。プライベート

な話題は避けること。

女性へのあいさつは、その女性が手を差し伸べるまで待つこと。その後、手にキスをする(実際にはジェスチャーのみ、特に年配の女性)か、握手(若い女性には握手が一般的)をする。

男性との握手は少し力をこめる。女性との握手はソフトに行う。どちらの場合も腕を振ってはいけない。

13-3 来客時の留意点

来客がコートなどを着用している場合は、かける場所を示す。来客が年配または女性の場合は、ホスト(男性)が脱ぐのを手伝う。また、帰る場合も着るのを手伝うこと。

13-4 訪問時の留意点

午後のお茶会(紅茶)などに招待されることがある。話題は文化に関するものが多く、上流や中流の家庭ではかなりの知識が要求される。


必ずお土産を持参すること。何でもよいが、男性には酒、女性には花や箱詰めチョコレートなどが一般的である。

室内でも靴を脱がないので、雨天の日などは靴の汚れに気をつけること。特別な場合を除き、滞在は2時間程度を限度にすること。

13-5 禁止されている言動(タブー)

特になし。

13-6 日本人会

 **Yellow Page** ブルガリアには日本人会(ソフィア日本人会)があり、さまざまな活動を行っている。会員の入会は常時受け付けている(詳細はイエローページを参照)。

13-7 JICA帰国研修員同窓会

JICA帰国研修員同窓会は1993年に発足し、JICAの活動および日本技術の紹介とともに日本文化の紹介を活発に行っている。会員数は約200人である。

13-8 現地の人々との交流

ブルガリアは大の親日国である。日本のことを、本などを通じてよく知っている人も多い。また、外国人に対してとても親切な人が多い。お互いの文化を教え合うような交流ができれば、よい親睦となる。

14. 教育



14-1 教育事情

(1) 一般事情

教育制度は改革中であり、毎年変化している。資金不足などのため学校によって教材などにばらつきはあるが、一般に教育レベルは高い。

現在の教育制度は、初等教育8年(小学校4年間、中学校3～4年間)、中等教育(高校4～5年間)、高等教育(大学4年間、医学部6年間)となっている。

初等・中等教育の学年は連続して呼ばれるのが一般的で、1～12年生となる。中等教育には普通科(4年間)、実業科(5年間)、専門学校(芸術など、5年間)があり、このほかに、英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、ロシア語などの語学学校(5年間)がある。普通科には、クラシックスタイル(5年間)と呼ばれる高校もある。また、夜間高校もある。

高等教育機関は41存在し、ソフィア大学、プロヴディフ大学、ヴァルナ大学、ヴェリコ・タルノヴォ大学などの総合大学のほかに、工業、農業、経済、芸術、医学などの専門大学もある。また、私立のアメリカ大学(ブラゴエフ市)、自由大学(ソフィア市)も新設された。

(2) 日本人学校

日本人学校はない。日本大使館では、大使館員や日系企業の日本人子弟などを対象にしたソフィア補習授業校(日本大使館内 電話 :02-971-2708、FAX :02-971-1095)を開いている。

子弟の教育については海外子女教育振興財団に問い合わせるとよい。

<海外子女教育振興財団>

URL :<http://www.joes.or.jp/>

E-mail :service@joes.or.jp

受付時間 :9:30～17:30(月曜日～金曜日、祝日・年末年始を除く)

・東京

住所 :〒105-0002 東京都港区愛宕1-3-4 愛宕東洋ビル6階

TEL :03-4330-1349

FAX :03-4330-1355

・関西分室

住所 :〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-3-1-200 大阪駅前第一ビル
2階

TEL :06-6344-4318

FAX :06-6344-4328

(3) 現地校、外国人学校



インターナショナルスクールとして、アメリカン・カレッジ・オブ・ソフィアがある。高校教育の私立学校で、英語による授業である。英語が話せない場合は、準備期間として1年間、英語の授業を受けることになる。入学試験あり。

そのほか、イギリス・アメリカ大使館が運営しているアングロアメリカンスクール(幼、小・中)がある(詳細はイエローページを参照)。

高校生以上の子弟には、ギリシャのインターナショナルスクールに入る例もある。

一般の現地校にも入学は可能であるが、ブルガリア語が話せることが望ましい。入学手続きは各学校で行う。私立学校はすべて有料であり授業料は各学校により異なる。3学期制で、休校日は土・日曜日、祝祭日である。

通学手段には徒歩、バス、トロリーバス、路線電車などの方法があるが、治安を考慮して保護者の送り迎えを勧める。

(4) 幼稚園

アングロアメリカンスクールに幼稚園がある。そのほか、英語の通じる幼稚園に以下がある。



・International Children's Creativity Centre (Kindergarten)

一般の幼稚園への入園も可能である。その場合は、教育科学省、区役所、学校で手続きを行う。入学金や授業料は無料のところと有料のところがある。通園手段などは前項の通学の場合と同様である。

14-2 教育関係施設

(1) 図書館など

図書館では、パスポートと証明写真を提示して一定の料金を支払うことにより、一定期間(選択可)有効のカードを作ることができる。国立図書館も有料である。日本人子弟も利用できる。

一般にブルガリア語、英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語を中心に欧州言語の書籍が利用できる。

主な図書館は次のとおり。



・National Library (St. Cyril and Methodius) (国立図書館「聖キリルとメトディ」)

・大学図書館(聖クリメント・オフリドスキ)

・ブルガリア科学アカデミー中央図書館

・ソフィア市立図書館

15. 家庭の使用人



15-1 一般事情

新聞広告などで募集する方法もあるが、知人の紹介によるのが無難である。知人の紹介などを通じて面接を行い、履歴書を提出してもらい選考する。外国語ができるかどうかなどは、あらかじめ紹介者に確認しておくことよい。面接の際には、雇用条件をはっきり提示する。

給料の目安は、雇用条件により異なる。契約書は一般的ではないが、作成してもよい。主な契約事項は、賃金(時間給、日給)、支払い方法(日給、週給、月給)、勤務時間(午前、午後、全日、時間指定)、休日、休暇(通常は夏期とクリスマスの時期)、ボーナスの有無と額(誕生日、名前の日、クリスマスなどに支給す

るのが一般的)、昇給の有無と時期、超過勤務の有無、交通費、食費、解雇条件、試用期間、退職金支給の条件と額などである。

雇用中に、雇用前に提示した雇用条件を忠実に守っていない場合は、その旨を注意し、実行を促す。

退職時には、契約事項に退職金などが決められていれば、それに合わせて支払いを行う。

15-2 運転手

(1) 雇用

一般家庭で運転手を雇用することはほとんどないが、家人が運転できない場合には、買い物や通学の送り迎えのために雇用するとよい。安全を考えて、知人の紹介により雇用することを勧める。

ブルガリア人女性には運転のできる人が多いので、家政婦兼運転手として勤めてもらうのもひとつの方法である。

(2) 日常管理

出退勤管理、走行管理、部品管理、洗車、保守点検などの実施を徹底させること。

(3) 教育指導

スピードを出しすぎないように、安全確認を徹底して行うよう指導する。また、身だしなみを整えるよう注意すること。

(4) その他の留意点

燃料や部品などの購入を任せる場合は、必ず領収証を持参させること。

15-3 家政婦／夫

(1) 仕事の種類と人数

一般的な家庭であれば、1人で十分である。料理、洗濯、清掃を依頼する。勤務時間は雇用条件により異なる。

(2) 雇用

選考方法、雇用方法ともに「15-1 一般事情」を参照。

(3) 日常管理

雇用前に提示した雇用条件を忠実に守っているかどうかに注意する。

15-4 庭師、ガードマン

アパートには庭がないのがふつうである。一戸建て住宅でも、概して庭は広くないので、庭師の雇用は一般的ではない。必要な場合は、やはり知人からの紹介によるのが安全である。業者に依頼する場合は、見積書を提出してもらうこと。個人に依頼する場合は、条件などをあらかじめ決めておくとよい。

ガードマンの雇用も一般的ではないが、雇用する際は詳細な契約を結ぶこと。セキュリティ会社(代表的なものにSOTがある。所在地 : 26, G.M. Dimitrov

Blvd., Sofia、電話・FAX : 9-1983)と契約するのもひとつの方法である。

16. メディア



16-1 新聞、雑誌

(1) 現地発行の日刊紙

ブルガリア語紙には「24 Chasa (24 Hours)」「Standart Daily」「Duma」「Troud」などがあり、そのほか多数発行されている。

現地英字新聞は「SOFIA ECO」(週刊)、「Daily News」(日刊)がある。



(2) 日本の日刊紙

OCS経由で日本から取り寄せている。2～5日遅れで届く。OCSについてはイエローページを参照のこと。

(3) 欧米紙／誌



購読はArtefakt(本社)に申し込む。

<主な刊行物(新聞)の年間購読料>

「The Times」 : 2600レヴァ

「Le Monde」 : 1279.20レヴァ

「International Herald Tribune」 : 1560レヴァ

購読契約は6カ月、1年単位。基本的に支払いはブルガリア通貨。窓口で支払うか集金係に預ける。

上記のほかにも、世界各国の新聞・雑誌などが購読できる。宅配も可能。

(4) 日本の雑誌、書籍

日本の出版物が購入できる書店はない。

16-2 ラジオ

(1) ラジオ放送局

放送局名と周波数は次のとおりである。特に記載のないものは24時間放送である。

<国営ラジオ>

フリスト・ボテフ FM : 66.5MHz、92.9MHz、MW : 828kHz

ホリゾント FM : 68.6MHz、103MHz、MW : 774kHz、261kHz

<民放ラジオ>

ラジオ・99 FM : 106MHz

ラジオ・ミラ FM : 107MHz

ラジオ・FM・プリュス FM : 94.9MHz

ラジオ・ヴィトシャ FM : 97.6MHz(ボイス・オブ・アメリカ)

ラジオ・エクスプレス FM : 96.2MHz

ラジオ・タングラ FM : 96.7MHz

ラジオ・ヴェセリナ FM : 99.1MHz

BGラジオ FM : 88MHz

ラジオ・アルママテル FM :96.7MHz

ラジオ・7ドゥニー FM :107.9MHz

ダリック・ラジオ FM :105MHz(日曜日の10:00~13:00に英語放送がある)

ラジオ自由なヨーロッパ・ブルガリア局&ラジオ・クラシックFM FM :89.1MHz
(放送時間8:00~24:00)

(2)NHKワールド・ラジオ日本(ラジオジャパン)

周波数は5960、6055、6155、6095、7230kHzである。

放送時間は16:00~17:00、20:00~21:00、21:00~24:00、14:00~16:00である。詳細は下記へ問い合わせるとよい。

<ラジオジャパン問い合わせ先>

NHK国際放送局企画編成部

所在地 :〒150-8001 東京都渋谷区神南2-2-1

電話 :海外から :+81-3-3465-1111(平日/日本時間10:00~19:00)

日本国内から :0570-066066(NHK視聴者コールセンター/24時間受付)

E-mail :nhkworld@nhk.jp

<周波数表、番組表の入手>

URL :http://www.nhk.or.jp/nhkworld/japanese/radioguide_j.html

(周波数表、番組表確認)

FAX :+81-3-5454-0888 情報番号260

(日本語放送の周波数表・番組表FAX サービス)

郵送 :上記NHK国際放送局企画編成部に請求する。(無料)

(3)聴取可能なその他の外国放送

BBC World Service(FM :91.0MHz)、Deutsche Welle(FM :95.7)、Radio France International(FM :103.6)が聴取できる。

すべて24時間放送である。

16-3 テレビ

(1)地上波放送局

放送局にはカナル・エドノ(チャンネル1、国営)、BTV(民営)、ノーヴァ・テレヴィジヤ(民営)、セテム・ドゥニー(民営)がある。すべてカラー放送である。

そのほか、専用アンテナを取り付ければ衛星放送が見られる。

(2)衛星放送、ケーブルテレビなど

衛星放送の状況は一般的に良好である。JSTV(<http://www.jstv.co.uk/>)などの受信も可能。

以下のケーブルテレビ会社の所在地など詳細はイエローページを参照のこと。

Yellow Page

- ・ソフィア・カーベル
- ・ツェントラル・グループ

ケーブルテレビ会社が多数あり、ソフィア・カーベルとツェントラル・グループの2社が大手である。これらのケーブルを通じて、ブルガリアのケーブルテレビ局のほとんど、海外のテレビ放送が見られる。入会金とケーブル取り付け料は30米ドル程度であり、月々の受信料も少額である(レヴァで支払う)。これは、数カ月分をまとめて支払うことも可能である。申し込みはパスポート持参の上、最寄りのケーブルテレビのオフィスへ出向いて行う。その際、ブルガリア語のできる知人に付き添ってもらおうとよい。

ケーブルテレビで受信できるチャンネルは約60チャンネルで、国内で販売している映画を放送している映画チャンネルのほか、RTL、RTL 2、SAT.1、PRO 7、3SAT、ZDF、ARD、DSF、EURO SPORT、CNN、EURO NEWS、FILM NET、TV 1000、RAIUNO、MTV、TNT Cartoon Network、MEDIA SET、SMT、NBC、およびカナル・エドノ(チャンネル1、国営)、BTV(民営)、ノーヴァ・テレヴィジヤ(民営)、セテム・ドゥニー(民営)、ロシアテレビなどである。

NHKワールドTVは大型の衛星放送用アンテナ、チューナーなどを購入すれば受信可能である。契約の上、専用チューナーなどを購入すればNHKワールド・プレミアムも受信できる。日本語の衛星放送JSTV(<http://www.jstv.co.uk/>)も受信可能。

<NHKワールドTV問い合わせ先>

NHK国際放送局国際編成部

所在地 : 〒150-8001 東京都渋谷区神南2-2-1

電話 : 海外から : +81-3-3465-1111(平日/日本時間10:00~19:00)

日本国内から : 0570-066066(NHK視聴者コールセンター/24時間受付)

E-mail : nhkworld@nhk.jp

<番組表の入手>

URL : <http://www.nhk.or.jp/nhkworld/> (週間番組表確認)

FAX : +81-3-5454-0888 情報番号258 (週間番組表FAXサービス)

(3)テレビ受信

受信方式は日本とは異なり、SECAMとPAL方式である。ブルガリアで販売されているオーディオ・ビデオ関係の電化製品は、日本製が主流である。テレビ、ビデオとも現在販売されているのはマルチタイプ(日本のNTSC方式も視聴できるタイプ)であり、価格は西欧とあまり変わらない。ディスカウントはあまり期待できないので、日本と比較すれば割高である。持参する場合もマルチタイプ、220V、50Hzのものがよい。テレビとビデオデッキが一体になっているものは、常時販売されているとは限らないので注意すること(大手電器店で注文は可能)。衛星放送用チューナー、専用アンテナなどの入手も現地地で行えるが、NHKワールド・プレミアム受信用の専用チューナーは購入できない。フランクフルトなどからの購入となる。

17. スポーツ、 趣味、 語学学習



17-1 スポーツ

(1) ゴルフ

ソフィア市から南東70kmのイヒティマン市にエア・ソフィア経営のゴルフ場が1カ所あるが、日本人はあまり利用していない(詳細はイエローページを参照)。

Yellow Page ・エア・ソフィア

(2) テニス、フィットネス

Yellow Page ケンピンスキー・ホテル・ゾグラフスキー内にテニス、フィットネス施設がある。

(3) その他のスポーツ

Yellow Page ソフィア市にはボーリング場が2つある。1つは上記ケンピンスキー・ホテル・ゾグラフスキー内にあり、料金は1時間投げ放題で5レヴァ。もう1つはGALAXY BOWLING Clubである。

17-2 趣味

主に国内観光。

17-3 語学学習

(1) 語学学習施設

現在ソフィア市には多くの語学学校があり、日本人が参加できる成人向け語学学校もある。

(2) 家庭教師

家庭教師による語学学習が可能である。

18. 観光



18-1 地方旅行の留意点

外国人の国内旅行に関する規則、制約は特にない。

交通手段は車、バス、列車の3つが主である。

地方都市の治安はソフィアよりも比較的よいとされているが、最近では列車での盗難事件が発生しているので注意が必要である。

18-2 主要観光地・保養地

(1) ソフィア市内

< 聖ネデーリヤ教会 >

スベタ・ネデーリヤ広場にある教会。1925年4月16日、当時の皇帝ボリス3世爆弾暗殺未遂事件が起こり、革命分子弾圧のきっかけになった。現在の建物はオスマン・トルコからの解放後に建てられたものである。この広場にはホテル・シェラトンがある。ツムデパート、旧共産党本部、大統領府、閣僚評議会などが近くに並ぶ。

< 聖ゲオルギー教会 >

ホテル・シェラトンの中庭にある。3~4世紀に建造されたローマ時代の遺跡。5

世紀にフン族に破壊されたが6世紀に再建、16世紀にはトルコ人によりモスクとして使用された。

<セルディカの遺跡>

ローマ時代のソフィアの名称である「セルディカ」から名付けられた。地下道建設工事の際に発見され、閣僚評議会と旧共産党本部を結ぶ地下道で見ることができる。

<バーニャ・バシ・ジャミーヤ>

ツムデパート横にある回教寺院。16世紀に建てられたもので、ソフィアに残る数少ないトルコ建築。

<国立歴史博物館>

近年、ボヤナ迎賓館に移りオープンした。「最古の黄金文明」として日本でも公開されたトラキア時代の宝物も、ここで見るができる。

<国立西洋美術館(聖キリルとメトディ国際基金付属美術館)>

海外からさまざまな作品が集められている。また、政変後の1996年、ブルガリアの巨匠ヴァシル・ストイロフ常設室ができた。

<ヤヴォロフ博物館>

ブルガリア象徴主義の始祖であり、20世紀のブルガリア文人No.1に選ばれた、ブルガリアで最も愛されている詩人の1人であるヤヴォロフの博物館。

<聖ペトカ寺院>

ホテル・シェラトンとツムデパートの間に位置している。14～15世紀に建造された地下教会で、わずかに屋根を地表に出している。新約聖書のエピソードが描かれている内部の壁画はビザンチン様式である。

<聖ソフィア教会>

アレクサンダル・ネフスキー寺院そば。この教会の歴史は4世紀にさかのぼる。フン族に破壊されたあと、6世紀にはほぼ現在の形になった。16世紀にはモスクとして使用された。1818年と1858年の地震で損傷を受けたまま放置されていたが、1930年修復された。ソフィアの町の名はこの教会に由来している。

<無名戦士の墓>

聖ソフィア教会南側。1981年、ブルガリア建国1300年を記念して建てられた。

<聖アレクサンダル・ネフスキー寺院>

高さ60mのバルカン半島最大の寺院である。内部の中央ホールは5000人を収容可能。12の鐘は重さ24トン。1882年に着工し、40年後に完成した。総建設費は当時600万レヴァを要し、内部の壁画はブルガリア人22人、ロシア人22人のほか、チェコ人、スロバキア人の画家により作成されている。地下にはクリプタと呼ばれる国立博物館分館のイコン博物館があり、古く貴重なイコンが約170点展示してある。

<ヴァイトシャ通り>

ソフィアのファッション・ストリートである。

<NDK>

人民文化宮殿のことで「エンデカ」と呼ぶ。国際会議、コンサートなどさまざまな催し物が行われる。

<ロシア教会(聖ニコラス教会)>

5つの黄金のドームやエメラルドグリーン色の尖塔がある。非常に美しい教会である。

<解放者記念像>

露土戦争に勝利し、ブルガリアをトルコから解放したロシア皇帝アレクサンドル2世の騎馬像である。ソフィアホテル、国会議事堂の前にある。

<ソフィア大学>

1888年、哲学歴史学部の開設に始まり、以後増築と学部増設を経て14学部を持つブルガリアの最高学府となった。土地と建築資金を寄付したエヴロギー・ゲオルギエフとフリスト・ゲオルギエフの兄弟の像が、正面玄関左右にある。

<旧王宮殿>

ブルガリア・ルネサンス様式にバロック様式を加えた建築。現在は国立美術館・国立民族学博物館として使用されている。1階では民族衣装などの手工芸品が販売されている。

<公園「ボリスの庭」>

364haの広さがある。皇帝ボリス3世の名がついた市民の憩いの場である。

<そのほか>

国立図書館「St. Cyril and Methodius」、ヴァシル・レフスキー記念碑などがある。

(2)ソフィア近郊(ヴェトシヤ山周辺)

<ヴェトシヤ山>

休日にはソフィア市民がハイキングに訪れる国定公園。ロープウエーがある。冬場はスキーも楽しめる。チェルニー・ブラッフ(黒い頂)は標高2290m。宿泊施設としてホテル・モレニーがあるが、バルカンツアーリストを通しての予約が必要である。

<ボヤナ教会>

その壁画のユニークさと美しさで世界中に有名。イタリア・ルネサンス以前の1259年にリアリズム的手法で描かれた肖像画の作者は不明である。その無名の画家は「ボヤンスキー・マイストル(ボヤナの巨匠)」と呼ばれており、いっそうの謎と興味をかきたてられる。

<ボヤンスコハンチェ>

ボヤナ教会の近くにある民族レストランで、夜には民族舞踊のショーがある。

<コピト>(ヴェトシヤ山のテレビ塔がある場所)標高1348mに展望台があり、ゴンドラで登ることができる。

<ズラートニ・モストヴェ(「金の橋」の意味)>

太古氷河により堆積した花崗岩が形成した「石の川」で、巨石が山頂から雄大

な流れを見せている。休日には多くの市民が訪れる。

<アレコ>

冬場はスキー場として有名である。

(3)その他の地域

<ヴェリコ・タルノヴォ>

第2次ブルガリア王国時代(1187~1393年)、オスマン・トルコに征服されるまではブルガリアの首都であった。街全体が切り立った崖の斜面に折り重なるように建っている。城跡には夜間照明がされ、中世の雰囲気漂う。

民族博物館、サモヴドスカ・チャルシーヤ、ヴェルチョヴァ・ザヴェラ広場、3つの丘(トラペジツァ、ツアレヴェツ、スヴェタ・ゴラ。第2次王国時代に栄えた)、ヴェリコ・タルノヴォ美術館などが見どころである。サモヴドスカ・チャルシーヤは商業地区で、古くから金銀細工、陶器、木彫り、わら細工、モール細工などの工房がある。チャルシーヤとはトルコ語で商業通りの意味である。

ホテルには次のものがある(以下、各地のホテルの詳細はイエローページを参照)。

Yellow Page

・グランドホテル・ヴェリコ・タルノヴォ
・アルバナシ・パレス

<リラの僧院>

ソフィアから南に約120kmのリラ山の奥にある。海拔1147m。僧院は針葉樹に囲まれている。10世紀、僧イヴァン・リルスキーが隠遁の地としてこの地を選び、小寺院を建てた。次第に中世の宗教と文化の中心となる。14世紀の第2次王国時代には、おおよそ現在の姿になった。オスマン・トルコが支配した約500年間は、この僧院でブルガリアの文化を保っていた。1833年、フレーリョの塔(1335年創建)以外のほとんどが焼失し、現在の建物は1834~60年に再建されたものである。サモコフ派そのほかの職人による美しい木彫りが有名である。Holy Virgin Church(外陣に囲まれた教会)や博物館がある。訪問するには、車またはバルカンツーリストの「リラの僧院ツアー」を利用するとよい。僧院で宿泊もできる。

Yellow Page

・ツアレフ・ブラッフ

<カザンラック(バラの谷)>

○カザンラック

ローズエッセンスで世界的に有名である。世界の有名ブランドで使われる香油の多くが、ここのバラから産出されている。バラの谷はカザンラックを中心に、カロフェル、カルロヴォ、ソポト、クリスラなどバルカン山脈とスレッドナ・ゴラ山脈に広がっており、その面積は1万4000エーカーになる。一年を通して温暖で降水量が少なく、バラ作りには最適の地である。収穫が終了する6月初めには、ブルガリア最大の祭り「バラの祭典(収穫祭)」が行われる。バラ産業博物館があり、香油、ジャム、ゼリーなどのバラ製品の製造を見学できる。また販売もしている。

○古墳(トラキア人の墓)

天井が丸いドーム型になっており、美しい壁画が描かれている。残念ながら一

般公開されていないが、墳墓のコピーが公開されている。

Yellow Page ・ホテル・カザンラック

<プロヴディフ>

ブルガリア第2の都市であり、商業都市でもある。ソフィアから東に約156km、トラキア平野のほぼ中心にある。ソフィアと同じく、交通の要所にあることから多くの民族により支配され、そのたびに町の名前が変わった。新市街と旧市街があり、それぞれ3つ(合計6つ)の丘からなる。特に旧市街は有名で、石畳の通りや坂道に、飾り窓が特徴的な民族復興スタイルの美しい家々が並んでいる。

また、ローマ公開会議場跡、ローマ円形競技場跡、考古学博物館、聖マリーナ教会、ローマ劇場跡(年に数回オペラ、バレエ、演劇などが催される)、ズラットヨ・ボヤジエフ美術館、ラマルティーヌ博物館、聖コンスタンティンと聖ヘレナ教会、民族復興博物館、民族博物館などがある。毎年、国際見本市が開かれる。

主なホテルは次のとおりである。

Yellow Page ・ノヴォテル・プロヴディフ

・トリモンツィウム・プリンセス

<ヴァルナ>

ブルガリア第3の都市で、「黒海の女王」と言われる西欧風の美しい港町である。大聖堂、ローマ浴場跡、水族館、イルカ水族館(イルカのショーがある)、スポーツ・文化宮殿、ヴァルナ博物館、復興博物館、民族博物館、海軍博物館がある。主なホテルは次のとおりである。

Yellow Page ・グランドホテル・ヴァルナ

・インターホテル・チェルノ・モレ

<黄金の砂(ゴールデン・サンズ)>

ヴァルナから17kmに位置する。ホテルが80軒以上、レストランは120軒以上ある夏の大リゾート地である。海水浴、サーフィン、シュノーケリング、ウインドサーフィンなどを楽しむことができる。ディスコやバーがあり、午前4:00ごろまで営業している。

<ブルガス>

南黒海沿岸の中心地であり、生誕約100年の新しい都市である。

聖キリルとメトディ教会(ブルガス最古の建築物)、考古学博物館、アートギャラリー、民族博物館、民族復興博物館がある。

Yellow Page ・ホテル・ブルガリア

<スランチェフ・ブリャック(サニー・ビーチ)>

ブルガスから北へ約36kmに位置する。「黄金の砂」と並ぶ大リゾート地であり、ホテルは100軒ほどある。ヨットやウインドサーフィンなどのオプションツアーが充実している。

<ネセバル>

スランチェフ・ブリャックより約6km。周りを海に囲まれた天然の要塞で、この町を巡って幾多の民族が抗争を繰り返した。支配者が変わるたびに町の名が変わ

り、さまざまな建築物ができた。

ニューメトロポリタン教会(聖ステファン教会)、オールドメトロポリタン教会(聖ソフィア)跡がある。

Yellow Page ・ガラ・ホテル

<ソゾボル>

ブルガスの南約34kmに位置する。古代ギリシャ人により建てられた町である。当時の名前はアポロニアといい、さまざまな遺跡が発掘された。目立つものはないが、民族復興スタイルの家々が並び、教会や博物館がある。

<サンダンスキー>

ピリン山脈の南にある温泉の町。温暖な気候である。インターホテル・サンダンスキーにはメディカルスタッフの常駐する医療センターがあり、国内外から人々がリハビリや温泉を楽しみにやってくる。

Yellow Page ・インターホテル・サンダンスキー

<バンスコ>

ピリン山脈最高峰のヴィヘン山麓に位置する。工芸品、タバコ、織物、香料、ワインで有名である。現在はスキーの町としても知られる。

Yellow Page ・アルピン・バンスコ

・ビッセル

<メルニック>

ソフィアから186km、サンダンスキーから20kmに位置する。赤ワインの産地として世界的に有名である。ローゼン僧院がある。

Yellow Page ・メルニック

<ルセ>

ドナウ川沿岸に位置するブルガリア第4の都市。夏には、ルセからドナウ川東のビディンまたは西のシリストラまで水中翼船で航行できる。所要時間は約6時間である。

トルコと戦ったステファン・カラジャとその一族の遺体が安置されている神殿、ステファン・カラジャの母親ババ・トンカの家、歴史博物館、交通博物館がある。

Yellow Page ・リガ・ホテル

・ホテル・ビストラ&ガリナ

<ガブロヴォ>

古くから陶細工、織物、革製品で有名。ユーモアの町としても知られている。町の中にはユーモアと風刺の博物館、国立教育博物館がある。

Yellow Page ・ホテル・バルカン

<ボロベッツ>

ソフィアから南に約70kmに位置する。冬はスキー、夏は避暑地としてにぎわう。ホテルはホテル・リラ(レストラン、ビリヤード、バー、トレーニングルーム)、ホテル・サモコフ(レストラン、プール、ボウリング、卓球)が代表的。

<パムポロヴォ>

ソフィアから約260km、プロヴディフから南に75kmに位置する。冬はスキー、夏は避暑地としてにぎわう。

<コプリフシティツァ>

18～19世紀の復興期の建築物が多く残っている。それらが建築記念物として指定されており、何百もの古い建築物が石造りの壁、石畳の道、小川などと組み合わせ、野外博物館の体をなしている。

Yellow Page ・ビトヴィ・クッシティーコプリフシティツァ(復興期に建てられた民家風ホテル)

18-3 旅行代理店

旅行代理店は多数ある。必ず見積書を作成してもらうこと。

Yellow Page

- ・バルカンツーリスト
- ・バルカントラベル
- ・サンシャイン・ツアーズ
- ・ユニコーン・トラベル
- ・Carlson Wagonlit Travel Agency
- ・Bulgarian Vip Travel

19. 私財の輸送、 引き取り、 購入



Yellow Page

19-1 家財道具

(1) 輸送業者

輸送会社は次のとおり(詳細はイエローページ「27.輸送会社」を参照)。

- ・HAMANN-Avimex Itel.Ltd.
- ・SeaHawk International Ltd.

空送 : ソフィア国際空港に荷物が到着すると、ソフィア空港税関から到着の通知が送付されてくる。その通知とINVOICE、PACKING LISTなど書類を持って受け取り手続きを行う。

海送 : ソフィア中央税関に荷物が到着すると、ソフィア中央税関から到着の通知が送付されてくる。その通知とINVOICE、PACKING LISTなど書類を持って受け取り手続きを行う。

(2) 輸入手続き

手続きが複雑なため、代行会社に依頼したほうがよい。ブルガリアではイタリア、スペインをはじめとした輸入家具が販売されているため、家具に関しては特に個人的に輸入する必要はない。

(3) 輸入貨物の受け取り港

海送 : 通常ヴァルナ港で陸揚げされ、ソフィア中央税関で受け取る。

空送 : 航空便はソフィア国際空港。

19-2 自動車

(1) 一般状況

トヨタ、日産、ホンダ、マツダ、ダイハツ、スズキの代理店のほか、韓国メーカーの代理店、メルセデス・ベンツ、オペル、BMW、アウディ、フォルクスワーゲン、プジョー、シトロエン、ボルボ、フィアット、ランチア、フォード、クライスラーなど欧米メーカーの代理店がある。また、中古車センターも多く、特別な場合を除いて国外から輸入する必要はない。

(2) 輸入手続き

輸入規制は原則的にない。軍事関係などの特別な車種を除いた、すべての車が輸入可能である。輸入については次のとおりである。

新車の場合、手続きに要する時間は平均2～3日であるが、車両が手元に届くまで1カ月程度かかる場合もある。

(例)

<新車>

関税(車体価格の10～11.5%)+付加価値税(車体価格の20%)+物品税(車体価格の40%)(EU車なし)が課される。

* (関税 : 3000cc未満は10%、3000cc以上は11.5%)

<中古車>

馬力・車体年数・排気量による換算+付加価値税(20%)+物品税(40%)(EU車なし)が課される。

(例)トヨタカローラ、3年、排気量1300cc、75馬力(単位 : 米ドル)

75馬力X60ドル=4500ドル(車体価格)

4500ドル(車体価格)X11.5%(関税レート)=517.5ドル(関税)

(4500ドル(車体価格)+517.5ドル(関税))=5017.5ドル

5017.5ドルX20%(付加価値税率)=1003.5ドル(付加価値税)

(5017.5ドル(車体価格+関税)+1003.5ドル(付加価値税))X40%=2408.4ドル(物品税)

したがって税の合計額は、517.5(関税)+1003.5(付加価値税)+2408.4(物品税)=3929.4ドルとなる。

(3) 現地での購入

購入には、パスポートなどの身分証明書が必要である。個人から買う場合は盗難車でないことを必ず確かめること。

現地の新車販売代理店は次のとおりである。

・TM・オート(トヨタ)

・ブルヴァリア(オペル)

・ダル・カー(BMW)



・日産ブルガリア(日産)

・ブルトラコ(ホンダ)

・ユニットレイド(フォルクスワーゲン、アウディ)

- ・ヴァントトレイド(フィアット)
- ・ソフィア・フランスオート(プジョー)
- ・デーウー(Daewoo)
- ・インダストリアル・コマーズ(Hyundai)
- ・アフトモトル・コーポレーション(シトロエン)
- ・オートテクニカ・アウディ(アウディ、SEAT)
- ・バルカン・スター(ベンツ、クライスラー、ジープ)
- ・ラーダ・ブルガリア(Lada)
- ・SOF CO,P.L.C.-ISUZU(いすゞ)
- ・ラトラ・モーターズ(三菱)
- ・モトプフォエ(フォード)
- ・スター・モーターズ(マツダ)

(4) 自動車登録

ナンバープレートは、外交官(C、赤色)、JICA関係者など(CT、赤色)、一般市民(C、白か黄色)に分けられる。一般市民の表示文字は都市によって異なり、ソフィアでは「C」である。

登録には、一般車は1～3日、中古車は15日間、外交官およびJICA関係などの車両は20日間を要する。また、外交官およびJICA関係者などのナンバーの取得には、外務省からの許可書が必要である。輸入車の登録は次のとおりである。

- ・税関担当者による車両の点検を受ける。
- ・自動車登録ナンバー、所有者証明書、パスポートなどを提示し、税関に所定の税金を支払う。
- ・5日間有効の仮ナンバープレートと許可証(税金支払い済み・自動車登録ナンバー)を受け取る。
- ・税関の許可証と自動車免許証を提示して、KAT交通警察(自動車登録、免許、車検取扱所)でナンバープレート、自動車所有者・車検カードを受け取る。
- ・ナンバープレート取り付け後、再び税関へ行き担当者に報告、点検を受ける。ディーラーから購入した場合は、ディーラーが一切の(または一部の)手続きを代行してくれるので、購入店から所定の書類と仮ナンバープレートを受け取る。その後、KATでナンバープレート、自動車所有者・車検カードを受け取る。ディーラーによっては、この手続きまでしてくれるところもある。

現地で個人から購入した場合は、前の所有者とともに公証人の前で登記をし、税金を支払う。所要時間は数時間～1日である。手続きには、知人などに付き添ってもらふことを勧める。

(5) 免許証取得

新規に現地で免許証を取得する場合は、教習車で所定の時間運転したのち、検定試験を受ける。検定試験合格後はKATで筆記試験を受け、それに合格すると免許証を取得できる。筆記試験はブルガリア語のみで行われる。

(6) 保険、税金

保険会社にはDZI(本店 :6, Tsar Osvoboditel Blvd.、電話 :981-57-99)などがある。支店は全国にある。保険の種類には強制保険と任意保険があり、任意保険の補償内容は日本と同様である。掛け金は車両価格により異なる。加入申し込みは、自動車を保険会社本店または最寄りの支店に持ち込んで行う(補償される金額は日本より小さいので注意)。

保険金受け取りの手続きは次のとおりである。

事故、盗難ともにまず警察(電話 :166)に連絡し、指示を仰ぐ。警察署に行き、所定の書類に記入するのが一般的であるが、ブルガリア語で記入しなければならないので、翻訳して提出するか、知人または弁護士に依頼するとよい。

事故の場合は、保険会社本店に連絡して事故車両を見せ、報告書などの書類を整えて提出する。書類はブルガリア語で記入しなければならないので、注意が必要である。

数日後、警察から発行された事故証明などの公式書類を持って再び保険会社へ行き、提出する。提出する書類は必ずコピーをとっておくこと。保険会社から保険金の受け取り日の指示がある。受け取りまで1週間以上を要する場合もある。盗難の場合は、後日警察が発行した事故証明などの公式書類を、保険会社へ提出する。やはり書類は必ずコピーしておくこと。保険会社が保険金の受け取り日を指示してくる。保険金の受け取りまでは約6カ月～1年間を要する。

上記の手続きは繁雑であるため、現地のスタッフや知人に手伝ってもらいとよい。自動車税は、保険料と同時に払うことができる。

車検は毎年行う。所有者または代理人が、KATなどの車検場に車両を持ち込む。通常、数時間で終了する。車検自体は数分であるが、先着順に行われるので待ち時間が長い。費用は少額である。

20. 地方都市

該当情報なし。



イエローページ

※ 特に記載のない限り、ブルガリア駐在員事務所のあるソフィアの情報が中心になっています。

1. JICA事務所（ブルガリア駐在員事務所）

所在地	Interpred-WTC Sofia Bld., 36, Dragan Tzankov Blvd., Bl. A, Office 901, 1057 Sofia, Bulgaria
TEL/FAX	TEL : +359-2-971-2170/3763 FAX : +359-2-971-2131
URL/E-mail	URL : http://jica.go.jp/bulgaria/index.html E-mail : jicajvbg@jica.go.jp

2. 日本大使館

所在地	14, Lyulyakova Gradina, Sofia, Bulgaria
TEL/FAX	TEL : 02-971-2708 FAX : 02-971-1095
URL/E-mail	URL : http://www.bg.emb-japan.go.jp/index_jp.htm

3. 緊急連絡先電話番号

日本大使館	TEL : 02-971-2708
JICA/JOCV	TEL : 02-971-2170/3763
駐在員事務所	
警察	TEL : 166
消防	TEL : 160
救急車	TEL : 150

4. ホテル *料金は2003年2月現在。VAT（付加価値税）込みの1泊料金。

■ケンピンスキー・ホテル・ゾグラフィスキー	100, J. Bouchier Blvd. TEL : 62-518 FAX : 962-5232 URL : http://www.kempinski.bg/ E-mail : kempinski_zografski@infotel.bg 料金：シングル142ユーロ、ツイン158ユーロ MasterCard、VISA、American Express、Diners Club 旧ニュー・オータニ・ホテル。ブルガリア料理、イタリア料理、西欧料理、日本食レストラン「桜」、ウィンナカフェ、ピアノバー、カジノ、スポーツクラブ、ショッピングアーケードがある。日本人の多くが宿泊する。
■ホテル・シェラトン・ソフィア・バルカン	5, St. Nedelya Sq. TEL : 981-6541 FAX : 980-6464 URL : http://www.travelmart.jp/imahotel/bulgaria/sof-she.htm E-mail : sofia.sheraton@luxurycollection.com 料金：シングル、ツイン236米ドル MasterCard、VISA、American Express、Diners Club ブルガリア料理、フランス料理、西欧料理のレストランとカフェバー、ナイトバー、カジノがある。そのほか、美容院、旅行代理店がある。中庭にはソフィア最古の聖ゲオルギー教会がある。
■ホテル・ラディソン	4, Narodno Sabranie Sq. TEL : 933-4334 FAX : 933-4335 URL : http://www.radisson.com E-mail : sofzh@radissonsas.com 料金：シングル、ツイン204ユーロ MasterCard、VISA、American Express、Diners Club 皇帝解放者記念像、聖アレクサンダル・ネフスキー寺院が正面に見える。
■ソフィア・プリンセス・ホテル	131, Blvd. Knyagina Mariya-Luiza Blvd. TEL : 933-8888 FAX : 933-8777 URL : http://princess.pc-link.net/ E-mail : princ/res@pc-link.net 料金：シングル90ユーロ、ツイン110ユーロ MasterCard、VISA 中央駅と長距離バスの始発点に近く便利であるが、治安があまりよくない地域なので注意が必要である。
■ホテル・ロディーナ	8, Totleben Blvd. TEL : 917-9999 FAX : 951-5840 URL : http://www.rodina.bg , http://www.sofiahotels.net/rodina.shtml E-mail : marketing@rodina.bg , reservation@rodina.bg 料金：シングル75ユーロ、ツイン96ユーロ MasterCard、VISA
■グランドホテル・ブルガリア	4, Tsar Osvoboditel Blvd. TEL : 987-1977 FAX : 988-4177 URL : http://www.sofiahotels.net/bulgaria.shtml E-mail : bgco@bulnet.bg 料金：シングル55米ドル、ツイン80米ドル MasterCard、VISA

■パーク・ホテル・モスクワ

25, Nezabrabka St.
 TEL : 971-1024 FAX : 963-2041
 URL : <http://www.sofiahotels.net/moskva.shtml> E-mail : marketing@parkhotelmoskva、info@sofiahotels.net
 料金：シングル63ユーロ、ツイン75ユーロ
 MasterCard、VISA
 最上階はパノラマレストランとなっており、ソフィアの森を眼下に見ることができる。日本大使館に近い。

■ホテル・プリスカ

87, Tsarigradsko Shose Blvd.
 TEL : 971-1077 FAX : 723-952
 URL : <http://www.sofiahotels.net/pliska.shtml> E-mail : info@sofiahotels.net
 料金：シングル80レヴァ (45米ドル)、ツイン90レヴァ (50米ドル)
 MasterCard、VISA
 レストラン、喫茶店がある。日本大使館に近い。

■ホテル・リラ

6, Kaloyan St.
 TEL : 9-3791 FAX : 981-3386
 URL : <http://www.sofiahotels.net/rila.shtml> E-mail : rila@inteth.bg、info@sofiahotels.net
 料金：シングル89米ドル、ツイン102米ドル
 MasterCard、VISA。クレジットカードで支払う場合は米ドル払い、現金の場合はレヴァ払いである。
 ホテル・セラトンの近くにある。

5.不動産会社

■NAKIT Group

169, G.Rakovski, Sofia
 TEL : 980-4966/6727 FAX : 980-4974
 E-mail : office@nakitgroup.com

6.損害保険会社

■DZI (デージーイー)

3, Benkovski St.
 TEL : 981-5799 FAX : 981-1303
 URL : <http://www.dzi.bg>

7.クリーニング

■ALPIA, J.S.Co.

1, Tri ushi St.
 TEL : 986-5266

■Dobi77-Stefan Simov, S.B.Co.

16, Geo Milev St.
 TEL : 720-151

■Elf-Iskra Ivanova, S.B.Co.

64B, Gen. Stefan Toshev St.
 TEL : 559-832

■Meder, S.B.Co.

1, Lyuleburgaz St.
 TEL : 944-2239

■Sevan, S.B.Co.

18, Kozlodui St.
 TEL : 310-040

8.仕立て、修繕

■AGNES, S.B.Co.

88, Liuben Karavelov St.
 TEL : 929-4519

■Liubie-Doichinov, S.B.Co.

bl. 122B, Dimitar Nestrov
 TEL : 986-7564

9.レストラン

<日本料理>

■桜

3, Elena Snezhina St. (ケンピンスキー・ホテル・ゾグラフスキー内)
 TEL : 62-518
 12 : 00~15 : 00、18 : 30~23 : 00、年中無休。ホテルの日本庭園の池の上にあり、眺めがよい。

■Cool House Biblioteka 「SUSHI」 Bar (寿司)
 88, Vasil Levski Blvd.
 TEL : 943-4004
 12 : 00 ~ 15 : 00、18 : 00 ~ 02 : 00、年中無休。ブルガリア人経営の寿司レストラン。寿司をはじめ、かき揚げ丼などもある。

<民族レストラン (ブルガリア料理と民族ダンス) >

■ボヤンスコハンチェ
 kv. Boiana, 1, Saborishte Sq. (ボヤナ教会そば)
 TEL : 856-3016
 12 : 00 ~ 24 : 00。21 : 15より民族ダンスが始まる。年中無休。外国人観光客が多い。

■ヴォデニッツァ (Vodenitza)
 Compl. Dragalevtzi
 TEL : 967-1058
 12 : 00 ~ 24 : 00。21 : 00より民族ダンスが始まる。外国人観光客が多い。

<ブルガリア料理>

■ローゼネッツ 100, J. Bourchier Blvd. (ケンピンスキー・ホテル・ゾグラフィスキー内)
 TEL : 62-518、62-51-365
 18 : 00 ~ 23 : 00、年中無休。

■コンチネンタル・プラザ
 NDK, Bulgaria Sq.1
 TEL : 951-5064/5430
 12 : 00 ~ 24 : 00、年中無休。

■バイ・ゲンチョ
 15, Dondukov Blvd.
 TEL : 986-6550
 12 : 00 ~ 22 : 30、年中無休。ワイン専門店の経営。

■ブチェラ Sv. Cedmochislenitsi
 TEL : 963-1392
 12 : 00 ~ 24 : 00、年中無休。ソフィア中心部の森のなかにあり、夏は庭園で食事ができる。

■ブルガリー 71, Dondukov Blvd.
 TEL : 943-5419
 12 : 00 ~ 24 : 00、年中無休。19世紀初頭の家をレストランに転用。夏は庭園で食事ができる。

<中国料理>

■大東方 2, Yanko Sakazov (ホテル・セルディカ内)
 TEL : 9-1936
 11 : 00 ~ 15 : 00、17 : 30 ~ 23 : 00。年中無休。

<韓国料理>

■コレアンハウス
 34, Elemag St.
 TEL : 963-0365
 12 : 00 ~ 24 : 00、年中無休。

<イタリア料理>

■バルマ 100, J. Bourchier Blvd. (ケンピンスキー・ホテル・ゾグラフィスキー内)
 TEL : 62-518
 12 : 00 ~ 15 : 00、18 : 00 ~ 1 : 00、年中無休。

■アルレキーノ 12, Solunska St.
 TEL : 980-7558
 12 : 00 ~ 23 : 00、年中無休。

■ボルサリーノ 47, Tsar. Simeon St.
 TEL : 983-2846
 12 : 00 ~ 23 : 00、年中無休。

■サン・ヴァレンティーノ
 45, Knyaginya Mariya-Luiza Blvd.
 TEL : 983-5663
 12 : 00 ~ 24 : 00、年中無休。

■ルチャーノ 6ti Septemvri St.
 TEL : 989-0260
 12 : 00 ~ 23 : 00、年中無休。

<フランス料理>

■ブレスラフ 5, Sv. Nedelya Sq. (ホテル・シェラトン内)
TEL : 981-6541
19 : 00~23 : 00、土曜休業。

■Keltic 16, Lavele St.
TEL : 986-7994
8 : 00~24 : 00、年中無休。

■サントロベ 1, Bulgaria Blvd.
TEL : 986-1270
11 : 30~24 : 00、年中無休。

■ル・ガルソン 39, Midzhut St.
TEL : 963-3818
12 : 00~24 : 00、年中無休。

<西欧・地中海料理>

■パノラマ 100, J. Bourchier Blvd. (ケンピンスキー・ホテル・ゾグラフィスキー内)
TEL : 62-518、62-51-323、686-096
18 : 30~24 : 00、年中無休。最上階にあるパノラマレストラン。

■バルカン 5, Sv. Nedelya Sq. (ホテル・シェラトン内)
TEL : 981-6541
6 : 00~23 : 00、年中無休。

■ステナタ 10, Nerazdelni St.
TEL : 963-0313
12 : 00~24 : 00、年中無休。

■33 CHAIRS 14, Asen Zlatarov
TEL : 465-333、944-1678
12 : 00~24 : 00、年中無休。

■メテオル Bitolia St.
TEL : 985-2393 (携帯 : 088-800-810)
12 : 00~24 : 00、年中無休。

<ギリシャ料理>

■ファンタジー 6, Sveta Nedelya Sq.
TEL : 987-9133
12 : 00~24 : 00、年中無休。ギリシャ音楽の演奏。ダンスフロアがある。

<ロシア料理>

■クリム 17, Slavyanska St.
TEL : 981-0666
12 : 00~15 : 00、18 : 30~23 : 00。年中無休。

<メキシコ料理>

■メクシカーノ 11, Krakra St.
TEL : 944-1724
12 : 00~24 : 00、年中無休。夏には庭園で食事ができる。メキシコ音楽の演奏がある。

<ブラジル料理>

■リオ NDK, Bulgaria Sq.1
TEL : 916-677
12 : 00~24 : 00、年中無休。

<アラブ料理>

■パールベク 6, Vassil Levski St. (フランス文化センター横)
TEL : 987-0907
9 : 00~21 : 00、年中無休。小さなレストラン。軽食向き。

<ブルガリア・ヨーロッパ料理>

■ヴィトシャ 100, J. Bourchier Blvd. (ケンピンスキー・ホテル・ゾグラフィスキー内)
TEL : 62-518、62-518-3645
12 : 00~17 : 00、19 : 00~23 : 00、年中無休。

■ルサルカ 20, Cherkovna St.
TEL : 437-679
12 : 00~24 : 00、年中無休。

■ルチャーノ 11, G. Parensov St.
TEL : 986-6577
12 : 00~24 : 00、年中無休。イタリア料理「ルチャーノ」姉妹店。

<魚料理>

■ズラットナ・リブカ

Samokovsko shose

TEL : 992-3177

12 : 00~23 : 00、年中無休。ソフィア中心街から車で30分。

<チェーンレストラン>

■ハビー

145, G. S. Rakovski St.

TEL : 987-2750

8 : 30~2 : 00、年中無休。店内にはバーのカウンターもある。

<ファストフード>

■ケンタッキーフライドチキン

8, Al. Stamboliiski Blvd.店

TEL : 933-9999

9 : 30~深夜2 : 00、年中無休。電話注文可。

■マクドナルド

69, William Gladston St. (スラヴェイコフ広場) 店

TEL : 980-8702 FAX : 980-9097

9 : 00~24 : 00、年中無休。

Aleksandar Malinov Blvd.店

TEL : 974-3032

■ビザハット

7, Dondukov Blvd.店

TEL : 91-281

11 : 00~23 : 00、年中無休。

10.通信販売

■Peter Justesen Company A/S

Redmolen 2 P. O. Box 2721 Freeport DK-2100 Copenhagen Denmark

TEL : +45 (デンマーク国番号)-3915-9600

URL : <http://www.pj.dk> E-mail : pj@pj.dk

11.スーパーマーケット、食材店

■ビラ (Billa)

55, Bulgaria Blvd.

TEL : 818-8100

8 : 00~20 : 00

■ラムストア

Stamboliiski Blvd.

TEL : 920-2502

7 : 30~20 : 00

■國貨商機

18, Pirotska St. (ジェンスキーバザール近く)

TEL : 981-5329

10 : 00~19 : 30 中国食材店

12.家電製品

■テクノポリス

j.k.Mladost 4

TEL : 921-1111

9 : 00~21 : 00 (日曜10 : 00~19 : 00)

■テクノマーケット

189, Evropa Blvd.

TEL : 925-9825

URL : <http://www.kkelectronics.com/>

10 : 00~20 : 00 (日曜10 : 00~17 : 00)

13.家具

■Kochen

Sofia, 4, Trapezitsa Blvd.

TEL : 980-6942

E-mail : kochen99@link.bg

■Neoset

Sofia 1000, 40, Vitosha Blvd.

TEL : 981-3132

14.日用品、雑貨

■METRO (メトロ)

Tsarigradsko shosse Blvd.7-11km

TEL : 976-2100/2333

7 : 30 (日曜9 : 00) ~20 : 00

食料品から電化製品まで揃う大型スーパー。

■Office 1 Superstore

51, Dzheims Boauchur Blvd.

TEL : 963-3386

URL : <http://www.office1.bg>

8 : 00~20 : 00 (日曜10 : 00~18 : 00)

オフィス製品のスーパーで、トイレットペーパー、ティッシュペーパーも含めて、オフィス関連のものはほとんど揃う。

15.工具、素材
■ミスター・ブリコラジュ

115, Tsarigradsko shosse Blvd.

TEL : 960-2060

8 : 30~20 : 30 (日曜9 : 00~18 : 00)

16.医療機関

<日中 (8 : 00~14 : 00) 受診する場合>

■MMA (軍付属総合病院)

3, Sv. G. Sofiiski St.

TEL : 922-6000 (代)

8 : 00~14 : 00

費用：診察料18米ドル、胸部X線24米ドル、頸椎X線48米ドル、検尿5米ドル、胃X線80米ドル、血液検査料5米ドル、肝機能検査39米ドルなど。入院は個室1泊100米ドル、2人部屋50米ドルが相場。

予約：必要である。緊急でない場合も連絡し指示を仰ぐ。医師不在時は、担当看護師（外交団専門外来）に指示を仰ぐ。

MMAは臨床から教育・研究まで行う機関。職員は約3000人、医師は約450人、ベッド数2100床。

■ソフィア市立第一病院

35, Patriarh Ehtimii St.

TEL : 988-3631 (代)

8 : 00~14 : 00

診療科目：主な科がある（婦人科除く）。

予約：必要である。

<日曜・祝日、夜間に受診する場合>

■N. I. Pirogov (通称ピロゴフ)

21, Tottleben Blvd.

TEL : 51-531 (代)

24時間体制。自分で車の手配をするか、150番に電話し、救急車の医師にピロゴフへ行くよう依頼する。

診療科目：日本流に解釈すると救急センター。小児の心臓外科以外はこなせる。

優秀な医師が集まっており、重症患者が多い。職員は約2500人、医師は約550人で外科医が多い。ベッド数1060床。臨床だけでなく教育・研究も行っている。

■University Hospital "Queen Giovanna" (通称イスル)

8, Bjalo More St.

TEL : 943-2170

7 : 30~13 : 00

診療科目：主な科がある（婦人科除く）。

いわゆる外交団病院。緊急症例も受け入れ可能。前述のピロゴフが受け入れ困難な時に頼みとなる。職員は約1500人、医師は約450人、ベッド数650床。

■National Center of Cardiovascular Disease (国立循環器センター)

65, Miko Papo St.

TEL : 920-2256 (代)

8 : 00~14 : 00

診療科目：心臓・循環器の専門病院。内科から外科まであり。

狭心症・心筋梗塞などの場合の第一選択病院。職員は約750人、医師は約150人。ニナ・ゴチェヴァ医師（女性）に連絡する。

17.銀行
■National Bank of Bulgaria (BNB : ブルガリア・ナショナル銀行)

1, Kniaz Al. Batenberg St.

TEL : 9-1459 FAX : 980-2425

URL : <http://www.bnb.bg/> E-mail : press_office@bnbank.org
■Bulbank AD (ブルバンク)

7, Sveta Nedelya Sq. (本店)

TEL : 984-111-11 FAX : 988-5370

URL : <http://www.bulbank.bg/bb/index.jsp> E-mail : about_bulbank@bulbank.bg

JICA関係者が利用している。

■Bulgarian Post Bank (ブルガリア郵便銀行)

1, Bulgaria Sq. (本店)

TEL : 963-2104 FAX : 963-0482

URL : <http://www.postbank.bg/> E-mail : main@postbank.bg

18. レンタカー

■AVIS

リザベーションオフィス

3, Vitosha Blvd.

TEL : 981-1082

URL : <http://www.avis.bg/> E-mail : reservations@avis.bg

9 : 00~17 : 30

ソフィア空港内

TEL : 945-9224

9 : 00~21 : 00

■Hertz

10, Gurko St.

TEL : 980-0461

E-mail : office@hertz.autotehnika.bg

9 : 00~18 : 00

ソフィア空港内

TEL : 945-9217

■インターカー (通称) (運転手付き)

ソフィア空港内

TEL : 683-467

8 : 00~21 : 00

100 J. Bouchier Blvd. (ケンピンスキー・ホテル・ゾグラフィスキー内)

TEL : 62-518

ホテル・シェラトンでも予約できる。

■プレスティージュ・エグゼクティブ・レンタカー (運転手付き)

ホテル・シェラトン内

TEL : 981-6541

8 : 00~21 : 00

bl. 4A, Zlatishki prohod

TEL : 590-612

19. 救急病院

■N. I. Pirogov (通称ピロゴフ)

21, Tottleben Blvd.

TEL : 51-531

20. 自動車修理工場

■ラトラ・モーターズ

90, Samokovsko Shose St., SBA Gorubliane Housing Complex Goryblene

TEL : 931-1190 FAX : 931-0288

三菱車の整備工場。

■EXPO 2000

Geme Dimitrov Blvd.

TEL : 962-9160 FAX : 962-4291

日産車の整備工場。

■Balkan Star

j.k.Hadgi Dimitrov, 65, Resbarska St.

TEL : 9-1988 FAX : 945-4014

ベンツ、ローバー、ロールスロイスの整備工場。

■EM Komplekt 33

278, Tzar Simeon St.

TEL : 857-3039 FAX : 857-4784

さまざまな車種の修理が可能。

■AnKol

179, Pirotska St., bl.79

TEL : 974-3830

さまざまな車種の修理が可能。

■Drumnik

100, Bulgaria Blvd.

TEL : 02-958-28-38 FAX : 02-958-28-91

タイヤの修理、さまざまな車種の修理が可能。

21. 携帯電話会社

■M-Tel (エムテル)

1, Kukush St.
 TEL : 812-3456 FAX : 088-500032 (携帯回線)
 URL : <http://www.mobiltel.bg>

■Globul (グローバル)

j.k.Mladost 1, Andrei Saharov St.
 TEL : 942-8000 FAX : 942-8010

22. インターネット・プロバイダー

■Geo Enterprise Ltd.

TEL : 963-2450 FAX : 963-2825
 URL : <http://www.geobiz.com/> E-mail : support@geobiz.com

■Bitex.com

TEL : 954-9090 FAX : 954-9335
 URL : <http://www.bitex.com/> E-mail : info@bitex.com

23. 郵便局

■中央郵便局

4, Gurko St.
 TEL : 949-6442

24. 国際宅配サービス

■DHL International

4, Narodno sabranie Sq. (ホテル・ラディソン内)
 TEL : 988-2309
 36, Dragan Tsankov Blvd.
 TEL : 969-3363
 Druzha 2, Prof. T. Lazarov Blvd. 10
 TEL : 9161-3360
 9 : 00~17 : 30
 URL : <http://www.dhl.bg>
 日本までの料金 (目安) : 料金 : 0.5kgまで99レヴァ、1kgまで122レヴァ、2kgまで170レヴァ、5kgまで309レヴァ。

■ブルポストEMS (エクスプレス・メール・サービス)

11, Gurko St.
 TEL : 878-281
 9 : 00~17 : 00

25. コンピューター修理

■VIEWPOINT Ltd.

35A, Arsenalsky Blvd.
 TEL : 963-1280

26. 航空会社

■オーストリア航空

41, Vitosha Blvd.
 TEL : 980-2323

■ルフトハンザ航空

9, Saborna St.
 TEL : 980-4141

■エールフランス航空

5, Saborna St.
 TEL : 980-6150

27. 輸送会社

■HAMANN-Avimex Itel.Ltd.

1, Brussels Blvd.
 TEL : 942-1910 FAX : 945-9707
 URL : <http://www.ihg-logistics.com> E-mail : tihomir.stoilov@avimex.com

■SeaHawk International Ltd.

4a, Slaveikov Square, 4000 Varna
 TEL : 052-63-21-80 FAX : 052-63-20-29
 URL : <http://www.seahawkintl.com> E-mail : drago@mail.vega.bg
 Aleksandar Logistik (ソフィア代理店)
 Sofia Kazichene (倉庫)
 TEL : 02-974-6440 FAX : 02-974-6442

28.日本人会

■ソフィア日本人会

現会長所属会社：36, Dragan Tzankov Blvd., World Trade Center, Room 311 (三井物産)

TEL：971-2172 FAX：971-2177

URL：http://geobiz.com/jpclub

2002年の行事・催し物：寿司パーティー、健康相談、チェリー狩り、運動会、ワイナリー見学、忘年会、ボーリング大会。

その他：広報誌「ヴィトシャ」の発行、ホームページ運営。

協力活動：海外日本人安全対策ワークショップ・安全対策講演会の会員参加、国際柔道大会での日本選手団応援と慰労会。日本語弁論大会の審査員の参加、その他。

29.教育機関

<日本人補習授業校>

■ソフィア補習授業校

日本大使館内

TEL：971-2708 FAX：971-1095

<現地校、外国人学校>

■アメリカン・カレッジ・オブ・ソフィア

The American College Campus, Mladost 4

TEL：975-3695

授業料その他：年間1万2000米ドル

■アングロアメリカンスクール

The American College Campus, Mladost 4

TEL：974-4575

授業料その他：年間1万2000米ドル

E-mail：aasregist@infotel.bg

<幼稚園>

■International Children's Creativity Centre (Kindergarten)

56, Sveti Naum St.

TEL：963-4716

対象年齢：2～3歳

使用言語：英語

授業料その他：週5日（土日は休み）。授業料は午前中の場合1カ月350レヴァ、午前と午後の場合1カ月490レヴァ。

30.図書館

■National Library (St. Cyril and Methodius) (国立図書館「聖キリルとメトディ」)

88, V. Levski Blvd.

TEL：988-2811

8：30～20：30

■大学図書館 (聖クリメント・オフリドスキ)

15, Tsar Osloboditel Blvd. (ソフィア大学内)

TEL：930-8200

9：00～16：00

■ブルガリア科学アカデミー中央図書館

1, 15-ti Noemvri St.

TEL：987-8966

9：00～18：30

E-mail：library@cl.bas.bg

■ソフィア市立図書館

4, Slaveikov Sq.

TEL：980-6688

12：00～19：30

31.新聞、雑誌

<日本の新聞の購読>

■海外新聞普及 (株) (OCS) 輸出購読サービス

〒108-8701 東京都港区芝浦 2-9-13

TEL：03-5476-8131 FAX：03-3453-8091

URL：http://www.ocs.co.jp/ E-mail：subs@ocs.co.jp

<欧米紙/誌の購読>

■Artefakt (本社)

8, Hubavka St.

TEL：971-9561 FAX：971-9567

URL：http://www.aqbonamenti.com E-mail：artefakt@abonamenti.com

32. ケーブルテレビ会社

■ソフィア・カーベル

21, Kustendil St.
TEL : 958-1879 FAX : 958-1889

■ツェントラル・グループ

23V, Sanstefano St.
TEL/FAX : 943-3304

33. スポーツ施設

<ゴルフ場>

■エア・ソフィア Grad Ihtiman, 100,tzar Osvoboditel Str.

TEL : 0724-3530 (ゴルフ場)、0724-2015 (ホテル) FAX : 0724-3593
料金：1ラウンド50レヴァ
エア・ソフィア社経営のゴルフ施設。

<テニス、フィットネス>

■ケンピンスキー・ホテル・ゾグラフィスキー内

100, J. Bouchier Blvd.
TEL : 62-518 FAX : 962-5232

URL : <http://www.kempinski.bg/> E-mail : kempinski_zografski@infotel.bg

テニス料金：時間帯により異なる。日中は1時間16～20レヴァ、夜間（照明付き）は35レヴァ。

フィットネス料金：フィットネスのみ8レヴァ（1カ月使用券は100レヴァ）。フィットネス、プール、サウナ使用で18レヴァ。（1カ月使用券は195レヴァ）。

<ボーリング場>

■GALAXY BOWLING Club

NDK Office Bldg. Bulgaria Sq.No.1, Sofia

TEL : 916-6564 FAX : 952-2655

E-mail : galaxybowling@top.bg

24時間営業。料金は1ゲーム9：00～12：00が3レヴァ、12：00～18：00が4レヴァ、18：00～9：00が5レヴァ。

34. 観光地のホテル

<ヴェリコ・タルノヴォ>

■グランドホテル・ヴェリコ・タルノヴォ

5000 Veliko Tarnovo, 2, Aleksandar Penchev St.

TEL : 062-601-000 FAX : 062-639-859

URL : <http://grandhotelvt.hit.bg> E-mail : ghvt@sitem-bg.net, ihotels@vt.bia-bg.com

レストラン3つ、喫茶店、土産物店がある。ヴェリコ・タルノヴォで最も有名なホテルの1つ。

■アルバナシ・パレス

5029 Veliko Tarnovo-Arbanasi

TEL : 062-630-176 FAX : 062-629-772

URL : <http://arbanassipalace.hit.bg> E-mail : ghvt@sitem-bg.net, ihotels@vt.bia-bg.com (インターホテル・ヴェリコ・タルノヴォと同系列)

ヴェリコ・タルノヴォ市から数kmの山の上にあるホテルで夜景が美しい。共産党政権時代のレジデンスの1つ。

<リラの僧院>

■ツアレフ・ブラッフ

2643, Rilski Manastir

TEL : 07054-24053

レストラン、ワインバーあり。

<カザンラック (バラの谷) >

■ホテル・カザンラック

6100 Kazanlak, 1, Sevtonolis Sq.

TEL : 0431-63210 FAX : 0431-64828

レストラン、喫茶店、バー、土産物店がある。この地域ではよいホテルで、ツーリストインフォメーションがある。

<プロヴディフ>

■ノヴォテル・プロヴディフ

4000 Plovdiv, 2, Z. Boiadjiev St.

TEL : 032-934-444 FAX : 032-934-346

URL : <http://www.novotelpdv.bg/> E-mail : reservation@novotelpdv.bg

プロヴディフで最も豪華なホテル。レストラン、プール、サウナがある。レンタカーの申し込みもできる。

■トリモンツィウム・プリンセス

Plovdiv, 2, K. Raicho St.

TEL : 032-605-000 FAX : 032-605-009

URL : <http://www.trimontiun-princess.com/> E-mail : hotel@ trimontiun-princess.com

レストラン、ディスコがある。

<ヴァルナ>

■グランドホテル・ヴァルナ

9000 Varna, Sv. Konstantin & Elena

TEL : 052-361-491 FAX : 052-361-920

URL : <http://www.gh-varna.com/>、 <http://www.saintelias.bg/>

ヴァルナで最も高級なホテル。レストラン、喫茶店、バーのほかにもコングレスセンター、カジノがある。

■インターホテル・チェルノ・モレ

9000 Varna, 33, Slivnitsa St.

TEL : 052-612-243 FAX : 052-612-220

レストラン、バーがある。

<ブルガス>

■ホテル・ブルガリア

8000 Bulgas, 21, Aleksandrovska St.

TEL : 056-842-820 FAX : 056-841-291

URL : <http://www.bulgaria-hotel.com/> E-mail : HotelBulgaria@2plus.bg

ブルガスで最も高級なホテル。

<ネセバル>

■ガラ・ホテル

8256 Sv. Vlas-Hesebar, Stara Planina

TEL : 0554-68-065

<サンダンスキー>

■インターホテル・サンダンスキー

2800 Sandanski

TEL : 0746-2-5165 FAX : 0746-2-52-71

サンダンスキーで最も大きなホテル。

<バンスコ>

■アルピン・バンスコ

2770 Bansko, 6, Heofit Rilski St.

TEL : 07443-51-00

■ピッセル

2770 Bansko, 16, El. Tepe St.

TEL : 07443-28-17

<メルニク>

■メルニク

2820 Melnik

TEL : 07437-272

<ルセ>

■リガ・ホテル

7000 Ruse, 5, Svoboda Sq.

TEL : 082-822-042 FAX : 082-824-870

URL : <http://www.rigahotel.ro-ni.net/>

ドナウ川沿いのホテル。パノラマレストランがある。

■ホテル・ビストラ&ガリナ

7000 Ruse, 8, Han Asparuh

TEL : 082-823-344 FAX : 082-823-345

<ガブロヴォ>

■ホテル・バルカン

5300 Gabrovo, 14, E. Manolov St.

TEL : 066-21-911 FAX : 066-801-057

ガブロヴォで最も大きなホテル。

<コプリフシティツァ>

■ビットヴィ・クッシティ・コプリフシティツァ

2090 Koprivshitsa

TEL : 07184-21-82

復興期に建てられた民家風ホテル。村に面した部屋からの眺めがよい。

35.旅行代理店

■バルカンツアーリスト

1, Vitosha Blvd.
 TEL : 980-2324 FAX : 981-0114
 E-mail : baltour@mail.techno-link.com
 9 : 00~19 : 00

■バルカントラベル

60, G. S. Rakovski St.
 TEL : 981-7778 FAX : 980-8180
 E-mail : balkantravel@email.com
 9 : 00~19 : 00

■サンシャイン・ツアーズ

47, Shipchenski Prohod St.
 TEL : 971-2825 FAX : 973-3048
 9 : 00~19 : 00
 市内・郊外ツアー

■ユニコーン・トラベル

15, Knyazevska St.
 TEL : 957-1013 FAX : 957-1852
 URL : <http://www.unicorn.journey.bg>
 9 : 00~19 : 00

■Carlson Wagonlit Travel Agency

10, Legue St.
 TEL : 980-8552 FAX : 980-4877
 8 : 30~13 : 00、14 : 00~17 : 30
 Interpred-WTC Sofia Bldg. Block A, Office 105
 TEL : 916-13-142 FAX : 916-13-212

■Bulgarian Vip Travel (BVT Tourist and Traver Agency)

Interpred-WTC Sofia Bldg. Block A, 1st floor
 TEL : 971-3792 FAX : 971-2986
 E-mail : info@bgviptrel.com

36.自動車販売代理店

■TM・オート (トヨタ)

163, Tsarigradsko shoes Blvd.
 TEL : 960-4110 FAX : 960-4109
 E-mail : sales@Toyota.bg、tmauto@toyota.bg

■ブルヴァリア (オペル)

84, Orion St., Liulin Compl.
 TEL : 272-534 FAX : 925-0008
 URL : <http://www.bulvaria.com> E-mail : opel@bulvalia.com

■ダル・カー (BMW)

J. K. Druzhba 1, 2, Ilija Beshkov St.
 TEL : 960-1603 FAX : 960-1613
 E-mail : darucar@bg400.bg

■日産ブルガリア (日産)

Hikola I. Vaptsarov, EXPO 2000
 TEL : 962-5458 FAX : 962-5116
 E-mail : expo@expo-2000.net

■ブルトラコ (ホンダ)

40, Bratia Buxton Blvd.
 TEL : 955-5210 FAX : 955-7361
 E-mail : bultraco@internet-bg.net

■ユニットレイド (フォルクスワーゲン、アウディ)

76A, Gurko St.
 TEL : 987-1140 FAX : 974-4828
 E-mail : unitreit-market@dea.bg

■ヴァントトレード (フィアット)

Compl. Gorubliane, 99 Samokovsko Shose
 TEL : 975-3168 FAX : 975-3169
 URL : <http://www.vantotrade.bg> E-mail : vanto@techno-link.com

■ソフィア・フランスオート (プジョー)

P. K. 73, Tsarigradsko Shose Blvd. 10-ti KM
 TEL : 960-1132 FAX : 975-3094
 URL : <http://www.peugeot.bg> E-mail : auto@peugeot.bg

■デーウー (Daewoo)

J. K. Borovo, 62, Bulgaria Blvd.
 TEL : 965-0011 FAX : 958-2884
 URL : <http://www.daewoo-bg.com> E-mail : dw-rosi@daewoo-bg.com

■インダストリアル・コマース (Hyundai)

J. K. Darvenitsa, 1, A. Liapchev Blvd.
 TEL : 974-3143、975-1930 FAX : 974-3057
 URL : <http://www.hyundai-indcommers.com> E-mail : hg@hyundai-indcommers.com

■アフトモトル・コーポレーション (シトロエン)

126, Tsar Boris III Blvd.
 TEL : 955-9148 FAX : 955-9152
 URL : <http://www.citroen.bg> E-mail : avtomotor@citroen.bg

■オートテクニカ・アウディ (アウディ)

47, Vassil Levski Blvd.
 TEL : 981-4228 FAX : 981-5268
 E-mail : office@audi.autotechnica.bg
 スペイン車SEATも扱う。

■バルカン・スター (ベンツ、クライスラー、ジープ)

5, Rezbarska St.
 TEL : 9-1988 FAX : 945-4014
 URL : <http://www.mercedes-benz.bg>

■ラーダ・ブルガリア (Lada)

j.k.Mladost 4, 1, Samara St.
 TEL : 974-4826 FAX : 974-4828
 E-mail : ladabg@techno-link.com

■SOF CO,P.L.C.-ISUZU (いすゞ)

52, Yanko Sakazov Blvd., Fl.2, Ap.5
 TEL : 944-2191 FAX : 943-3354
 E-mail : socopls@yahoo.com

■ラトラ・モーターズ (三菱)

116, K.Maria Luiza Blvd.
 TEL : 931-1190 FAX : 931-0288
 URL : <http://www.mitsubishi.bg> E-mail : tr@ratora.bg、tr@mitsubishi.bg

■モトプフォエ (フォード)

444, Slivnitsa Blvd.
 TEL : 9842-2322 FAX : 9842-2333
 URL : <http://www.ford.bg> E-mail : motopfohe@ford.bg

■スター・モーターズ (マツダ)

56, Sv.Georgi Sosiiski Blvd.
 TEL : 950-2250 FAX : 950-2256
 E-mail : starmotors@mobicom.com